音更町まちづくり町民アンケート
結果報告書

平成２５年９月

音更町

もくじ

１　調査の概要…… 1

２　回答者について…… 2
（ア）性別…… 2
（イ）年齢…… 3
（ウ）出生地…… 4
（エ）職業…… 4
（オ）居住行政区（町内会）名…… 4
（カ）勤務地または通学地…… 5
（キ）音更町での居住年数…… 5

３　設問別調査結果…… 6
【問１】音更町での暮らしについて…… 6
【問２】音更町の住み良さ…… 12
【問３】音更町への定住志向…… 15
【問４】町外に移りたいと思う主な理由…… 17
【問５】行政運営（まちづくり）や町民参加について…… 19
【問６】「広報おとふけ」と町のホームページを読む程度…… 26
【問７】「広報おとふけ」とホームページの改善点…… 30
【問８】まちづくりへのアイデアや提案…… 33

４　アンケート票…… 44

1　調査の概要

○調査の目的

この調査は、住民のみなさまを対象に、暮らしの中で感じる意識や意向、まちづくりへの評価、意見や提案などを把握し、第５期音更町総合計画を推進する上での資料とするため実施したものです。

○調査の実施方法などについては、次のとおりです。

実 施 時 期　：平成 25 年 6 月
実 施 地 域　：音更町全域
対 象 者(数)：音更町に住む 18 歳以上の住民から無作為に抽出した 1,000 名
調 査 方 法　：郵送にて配布・回収（回答は無記名）

○回収状況

配　布　数：1,000 票
回　収　数：402 票　（回収率 40.2%）

○集計・表記方法

・比較や順位付けは回答率（一部では加重平均値）で行っており、“高い”“低い”という表現は、回答率の高低を意味しています。
・集計は各属性で行っていますが、本報告書では、「全体」のほか、特徴のある属性のみ、コメントしています。
・集計結果は、小数点第２位を四捨五入し、小数点第１位までを百分率(%)で表示しています。そのため、選択肢から１つだけ選び回答する設問では、構成比の和が 100.0%にならないことがあります。
・属性別の集計結果については、属性の無回答者を除いて表示しているため、総数と異なる場合があります。
・本文やグラフ中の選択肢は、調査票の言葉を短縮しているものがあります。
・自由記述回答については、回答者の実際の記述事項を整理・要約して掲載しています。同じ内容のものについてはまとめ、回答数を（　）に示しています。

○調査の実施機関

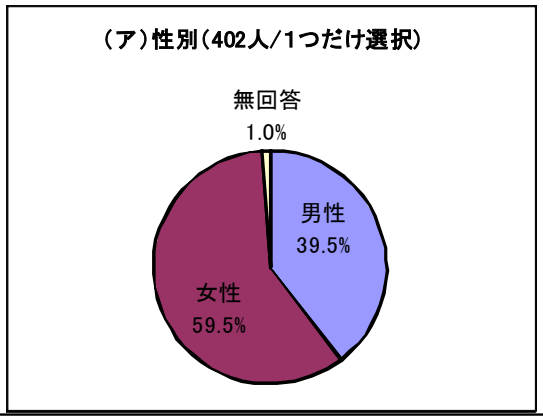
音更町企画財政部企画課

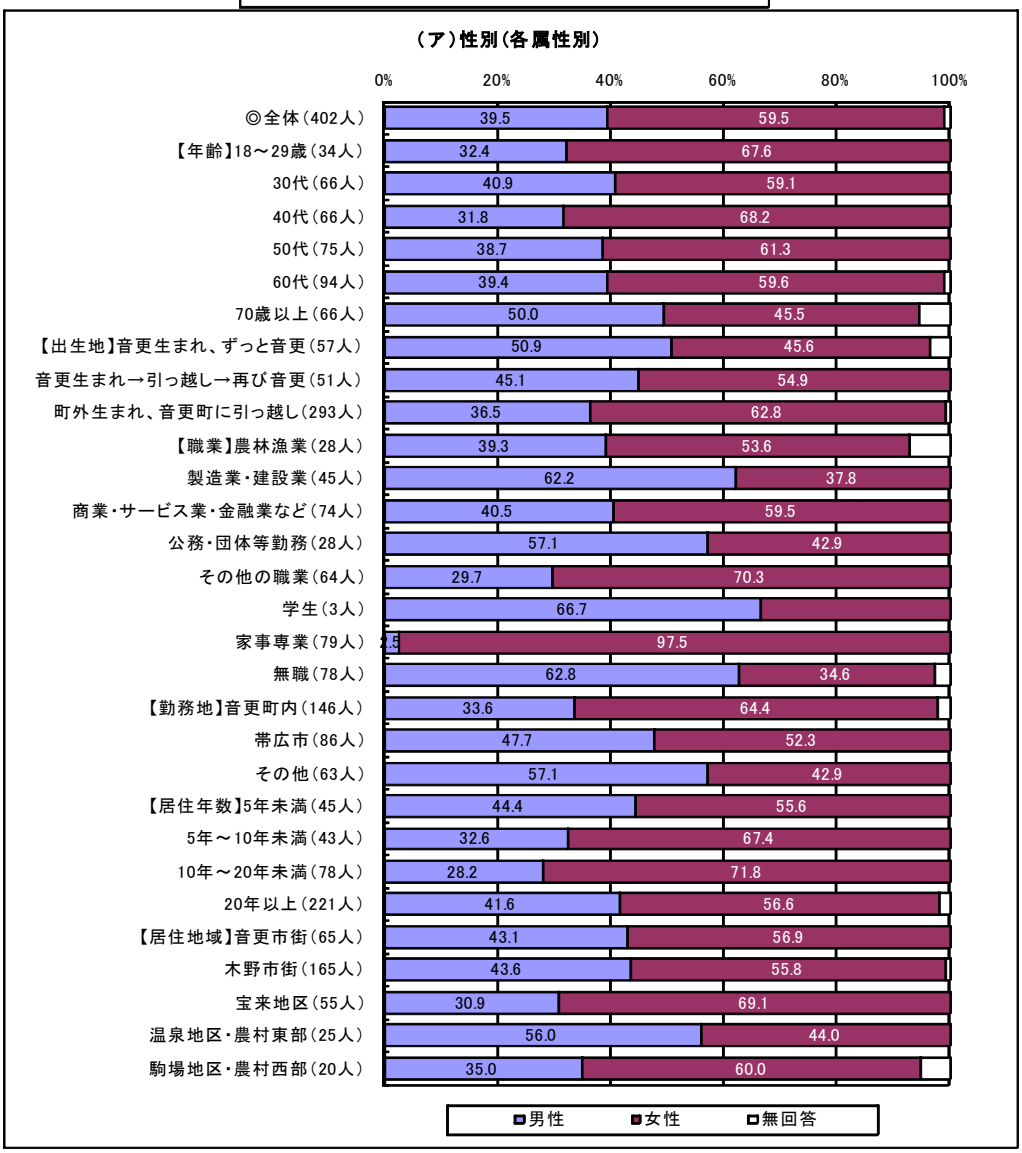
２　回答者について

はじめに、回答される方についておたずねします。次の各項目について、それぞれあてはまるものを１つだけ選んで、番号に○印をつけてください。（居住地については記述）

（ア）性別

性別で比較すると、「女性」が 59.5%、「男性」が 39.5%で、女性が多めです。
年齢ごとの性別をみると、40 代で特に「女性」の割合が高くなっています。

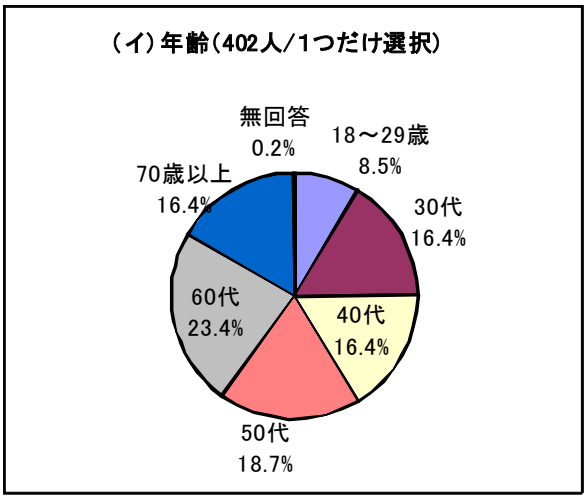


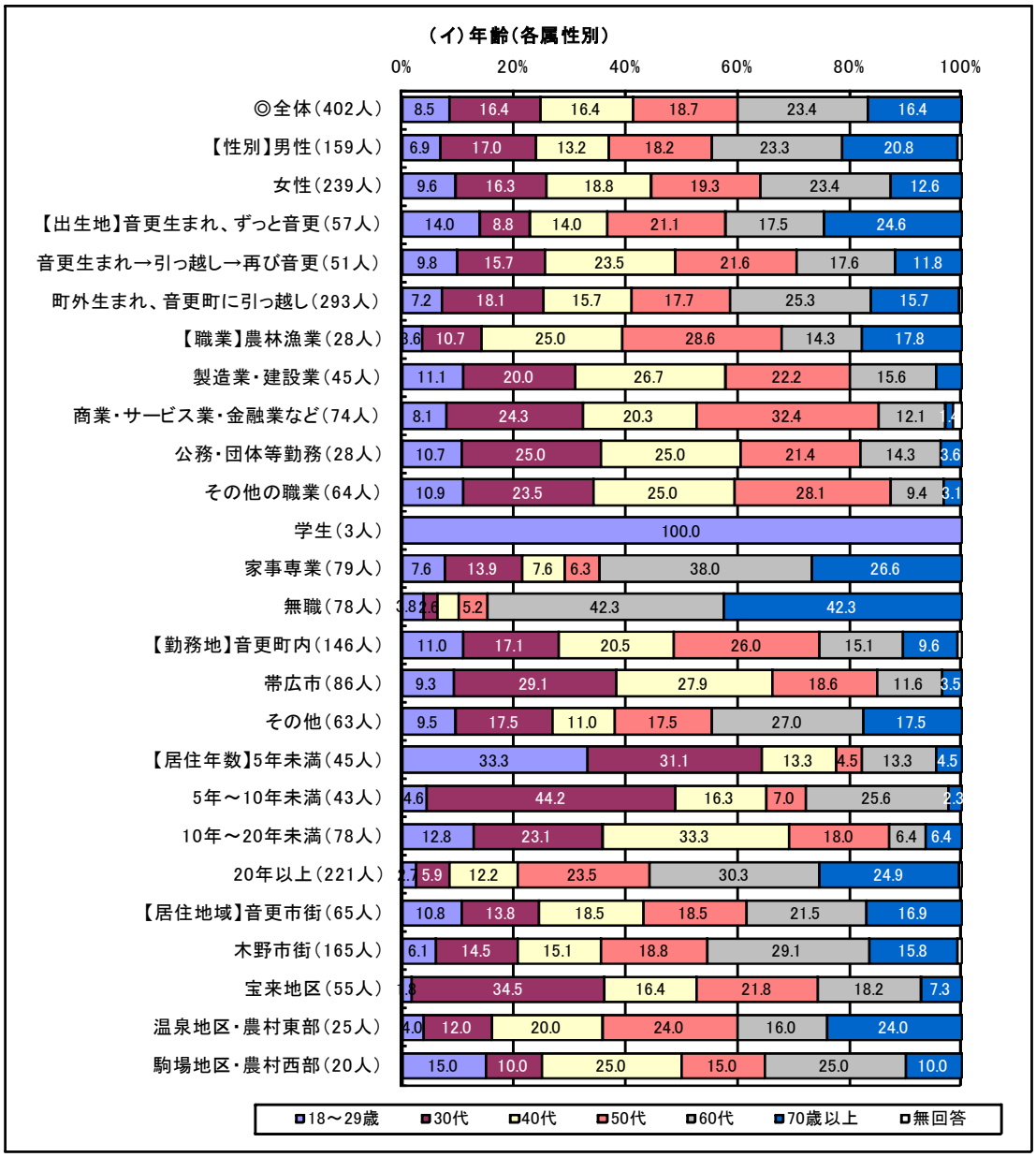


（イ） 年齢

「60 代」(23.4%) が最も多く、「50 代」(18.7%) が続きます。最も少ないのは「18～29 歳」(8.5%) です。

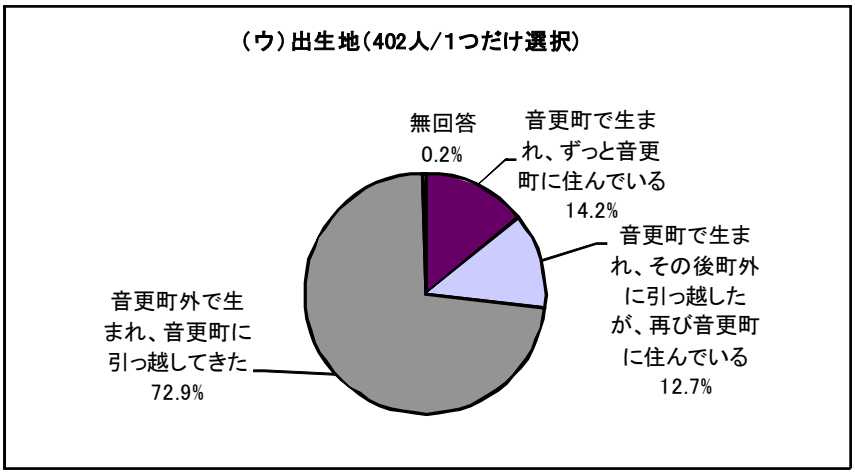
性別ごとの年齢内訳をみると、男性、女性共に 60 代が最多です。





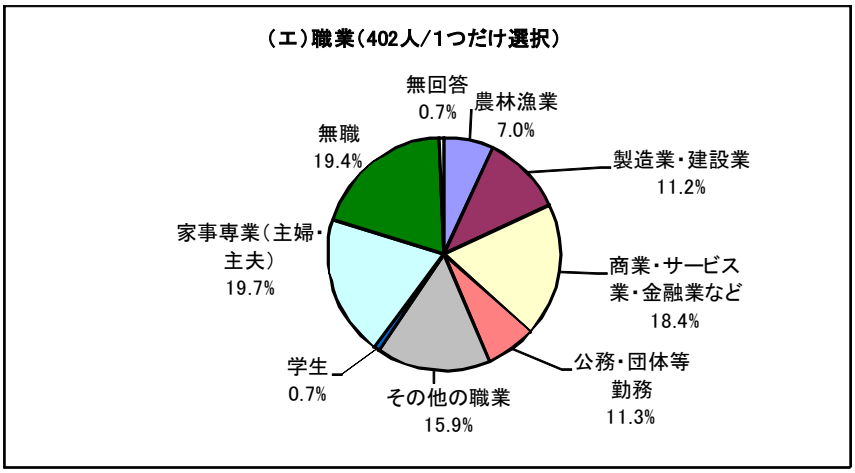
（ウ）出生地

「音更町外で生まれ、音更町に引っ越してきた」（72.9%）が最も多く、「音更町で生まれ、ずっと音更町に住んでいる」（14.2%）、「音更町で生まれ、その後町外に引っ越したが、再び音更町に住んでいる」（12.7%）と続きます。



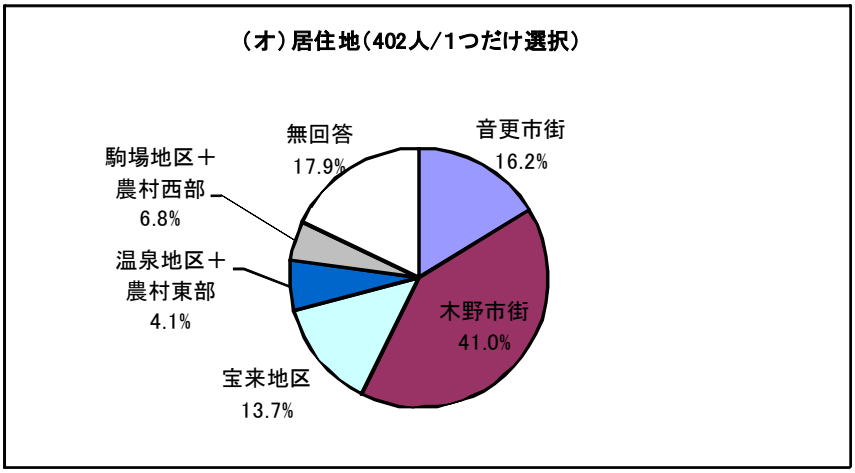
（エ）職業

「家事専業（主婦・主夫）」（19.7%）、「無職」（19.4%）の割合が多く、「商業・サービス業・金融業など」（18.4%）「その他の職業」（15.9%）が続きます。



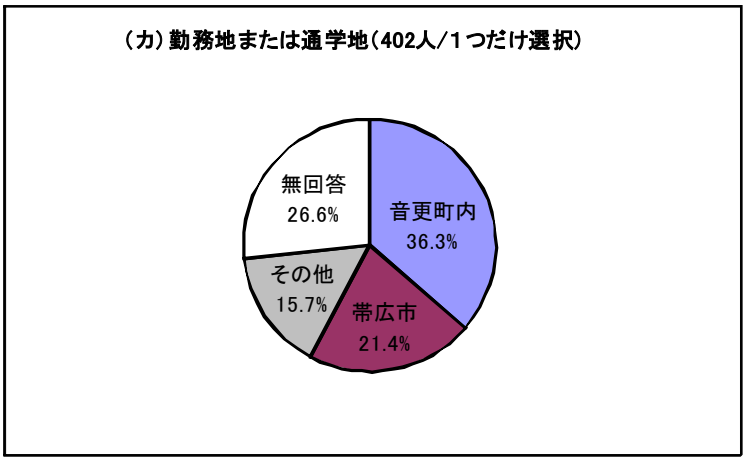
（オ）居住行政区（町内会）名

「木野市街」（41.0%）が最も多く、「音更市街」（16.2%）が続きます。また、無回答が約２割を占めます。



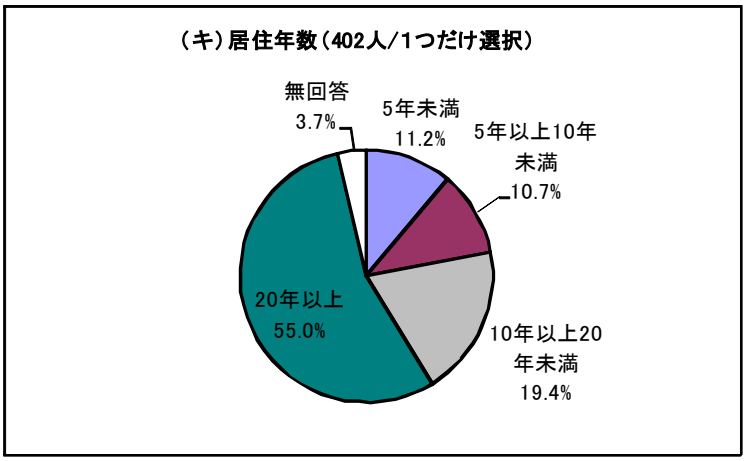
（カ）勤務地または通学地

「音更町内」（36.3%）が最も多く、「帯広市」（21.4%）が続きます。



（キ）音更町での居住年数

「20 年以上」（55.0%）が最も多く、「10 年以上 20 年未満」（19.4%）が続きます。「5 年未満」と「5 年から 10 年未満」の合計で 22%を占めます。



３　設問別調査結果

【問１】音更町での暮らしについて

【問１】音更町での暮らしについて、各分野の【現在の「満足度」】と、【今後の「重要度」】をおたずねします。下の「①満足度」と「②重要度」の各選択肢（Ａ～Ｅ）から、あてはまるものをそれぞれ１つずつ選んで、○印をつけてください。

加重平均値※を算出すると、「満足度」で最も値が高かったのは「34.日常の買い物環境」(0.56)で、最も低かったのは「40.働く場の確保」(-0.43) です。

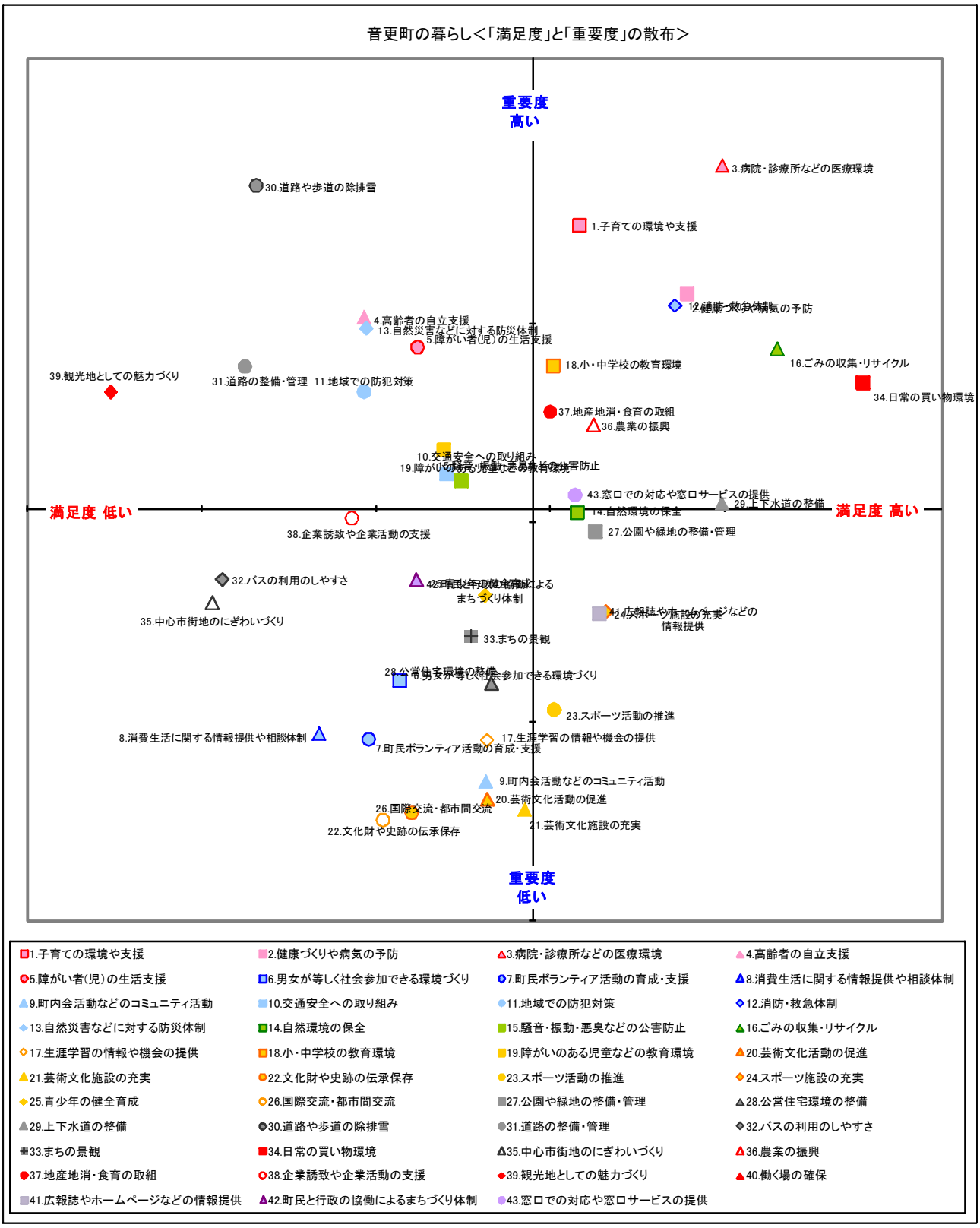
「重要度」で最も値が高かったのは「3.病院・診療所などの医療環境」(1.34) で、最も低かったのは「26. 国際交流・都市間交流」(0.35) です。(◎は最大値、▼は最小値を示します。)

	満足度の加重平均(H24)①	満足度の加重平均(H25)②	前回との比較②－①	重要度の加重平均(H24)③	重要度の加重平均(H25)④	前回との比較④－③
1.子育ての環境や支援	0.28	0.23	−0.05	**◎1.30**	1.25	−0.05
2.健康づくりや病気の予防	0.39	0.36	−0.03	1.18	1.14	−0.04
3.病院・診療所などの医療環境	0.49	0.40	−0.09	1.28	**◎1.34**	**◎0.06**
4.高齢者の自立支援	0.05	−0.01	−0.06	1.07	1.11	0.04
5.障がい者(児)の生活支援	0.15	0.05	−0.1	1.08	1.06	−0.02
6.男女等しく参加できる環境づくり	0.18	0.03	−0.15	0.55	0.56	0.01
7.町民ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動の育成・支援	0.08	−0.01	−0.09	0.48	0.47	−0.01
8.消費生活の情報提供や相談	−0.01	−0.07	−0.06	0.49	0.48	−0.01
9.町内会活動などのｺﾐｭﾆﾃｨ活動	0.21	0.13	−0.08	0.43	0.41	−0.02
10.交通安全への取り組み	0.16	0.08	−0.08	0.88	0.87	−0.01
11.地域での防犯対策	0.07	−0.01	−0.08	1.09	1.00	−0.09
12.消防・救急体制	0.39	0.34	−0.05	1.20	1.13	−0.07
13.自然災害に対する防災体制	0.01	−0.01	−0.02	1.17	1.09	−0.08
14.自然環境の保全	0.28	0.23	−0.05	0.92	0.82	−0.1
15.騒音・振動・悪臭の公害防止	0.19	0.10	−0.09	0.94	0.86	−0.08
16.ごみの収集・リサイクル	0.57	0.46	−0.11	1.15	1.06	−0.09
17.生涯学習の情報や機会の提供	0.24	0.13	−0.11	0.51	0.47	−0.04
18.小・中学校の教育環境	0.27	0.20	−0.07	1.07	1.04	−0.03
19.障がいのある児童の教育環境	0.18	0.08	−0.1	0.88	0.91	0.03
20.芸術文化活動の促進	0.18	0.13	−0.05	0.39	0.38	−0.01
21.芸術文化施設の充実	0.21	0.17	−0.04	0.36	0.37	0.01
22.文化財や史跡の伝承保存	0.11	0.04	−0.07	**▼0.35**	0.36	0.01
23.スポーツ活動の推進	0.27	0.20	−0.07	0.49	0.52	0.03
24.スポーツ施設の充実	0.33	0.26	−0.07	0.63	0.67	0.04
25.青少年の健全育成	0.14	0.13	**◎−0.01**	0.75	0.69	−0.06
26.国際交流・都市間交流	0.04	0.01	−0.03	0.39	**▼0.35**	−0.04
27.公園や緑地の整備・管理	0.34	0.25	−0.09	0.86	0.79	−0.07
28.公営住宅環境の整備	0.15	0.13	−0.02	0.54	0.56	0.02
29.上下水道の整備	0.45	0.40	−0.05	0.93	0.83	−0.1
30.道路や歩道の除排雪	0.02	−0.14	−0.16	1.27	1.31	0.04
31.道路の整備・管理	−0.05	−0.15	−0.1	1.07	1.04	−0.03
32.バスの利用のしやすさ	−0.06	−0.18	−0.12	0.74	0.71	−0.03
33.まちの景観	0.19	0.11	−0.08	0.75	0.63	**▼−0.12**
34.日常の買い物環境	**◎0.61**	**◎0.56**	−0.05	0.99	1.01	0.02
35.中心市街地のにぎわいづくり	−0.11	−0.19	−0.08	0.73	0.68	−0.05
36.農業の振興	0.37	0.25	−0.12	0.97	0.95	−0.02
37.地産地消・食育の取組	0.32	0.20	−0.12	1.00	0.97	−0.03
38.企業誘致や企業活動の支援	0.05	−0.03	−0.08	0.85	0.81	−0.04
39.観光地としての魅力づくり	−0.13	−0.30	**▼−0.17**	1.07	1.00	−0.07
40.働く場の確保	**▼−0.35**	**▼−0.43**	−0.08	1.25	1.27	0.02
41.広報誌やﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞの情報提供	0.36	0.26	−0.1	0.73	0.66	−0.07
42.協働によるまちづくり体制	0.09	0.05	−0.04	0.71	0.71	0
43.窓口対応やサービスの提供	0.30	0.23	−0.07	0.90	0.84	−0.06

※回答者数によって平均値を算出したものを「加重平均」といいます。
満足度の算出：(満足×２＋やや満足×１＋やや不満×−１＋不満×−２）÷回答者数
重要度の算出：(重要×２＋やや重要×１＋あまり重要でない×−１＋重要でない×−２）÷回答者数
数値の範囲は－２～＋２の間で、－２に近いほど評価は低く、＋２に近いほど評価は高い、とみます。

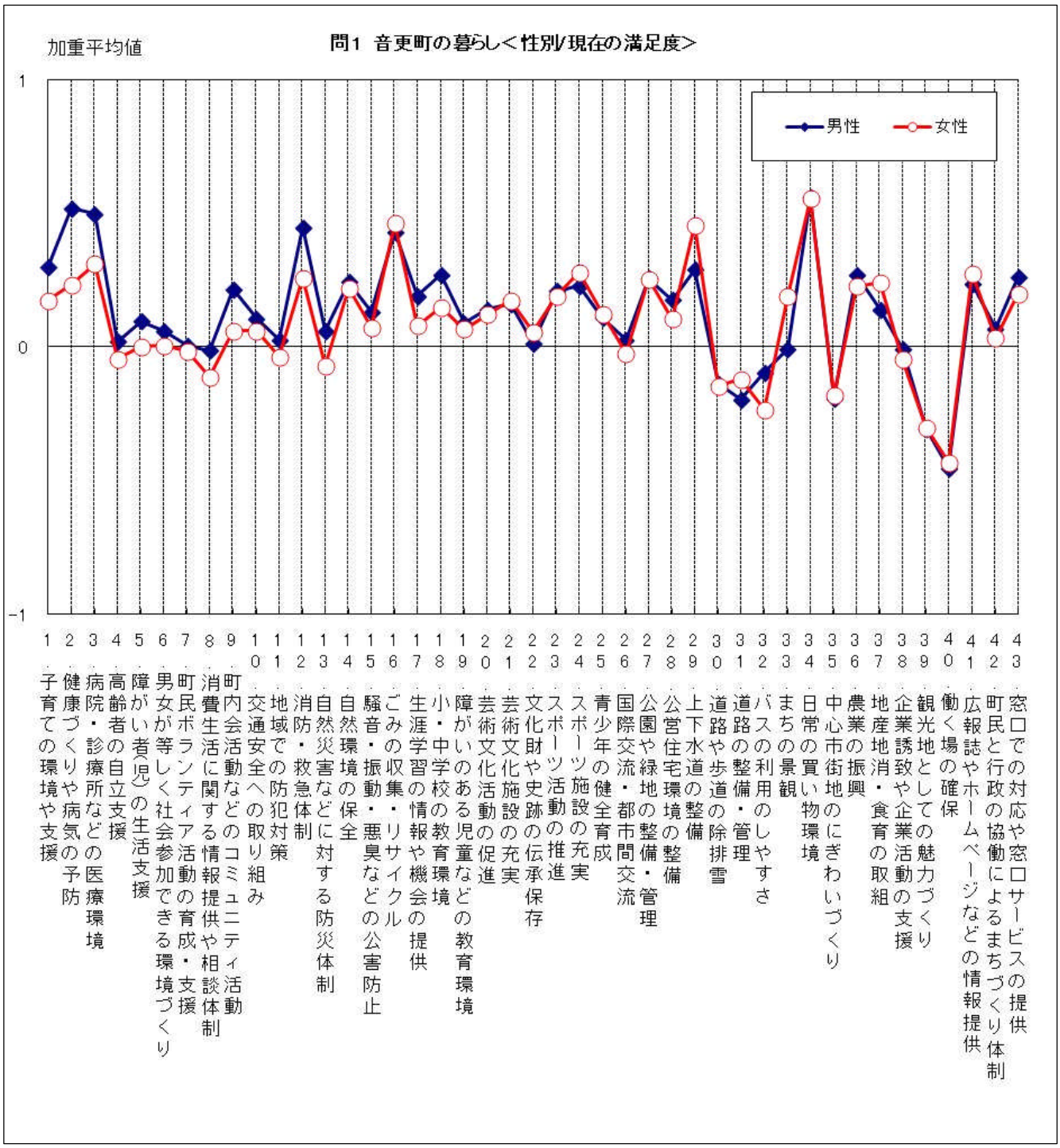
44 項目の満足度、重要度の加重平均値の分布を相対的に比較してみると、

“満足度が低く重要度が高い”のは「40. 働く場所の確保」、“満足度も重要度もともに高い”のは「3. 病院・診療所などの医療環境」であることがわかります。



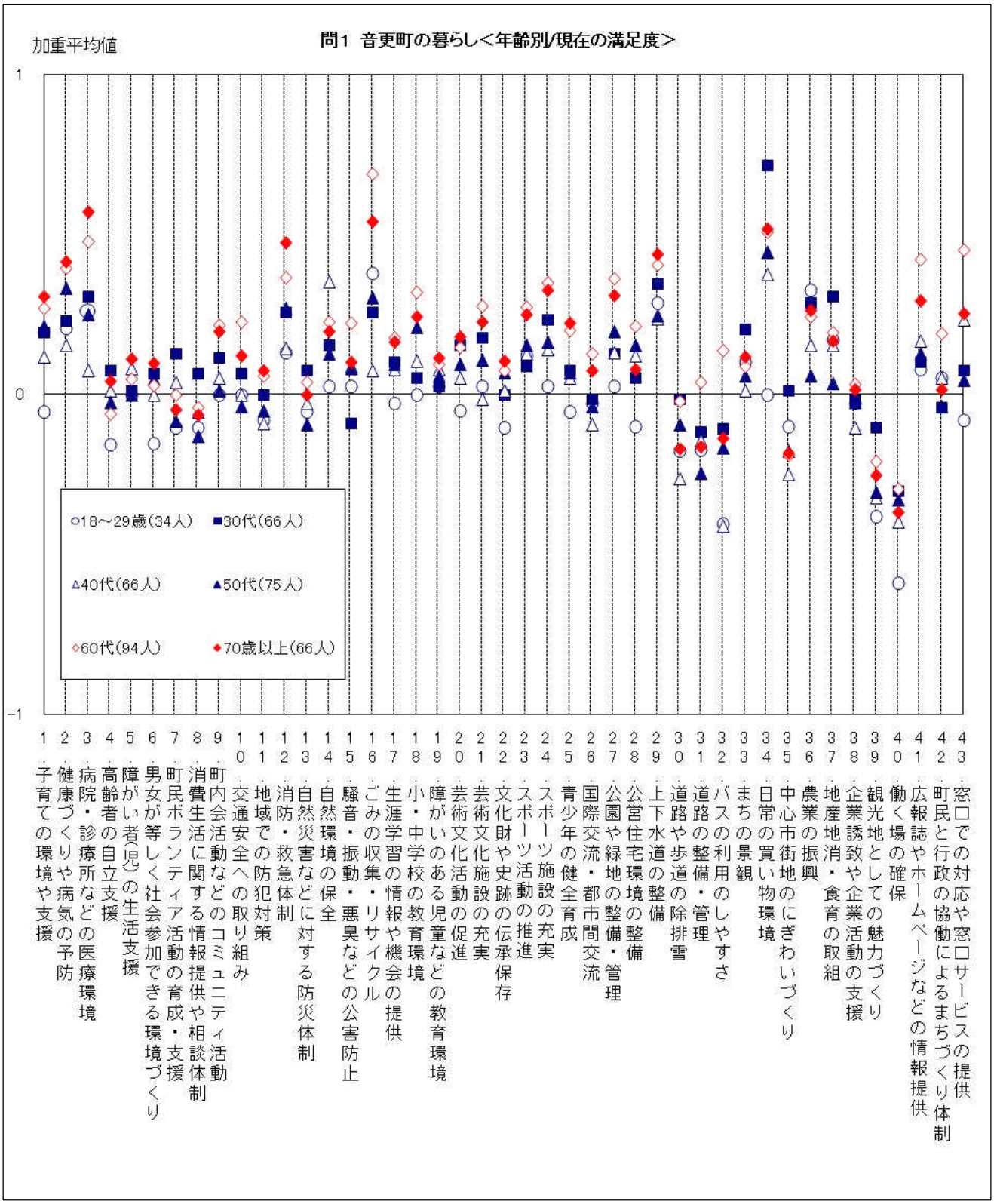
＜①満足度について/性別＞

性別にみると、「2.健康づくりや病気の予防」「3.病院・診療所などの医療環境」「12.消防・緊急体制」では女性の満足度が男性より低く、「29.上下水道の整備」では男性の満足度が女性より低くなっており、それぞれ男女の差がみられます。



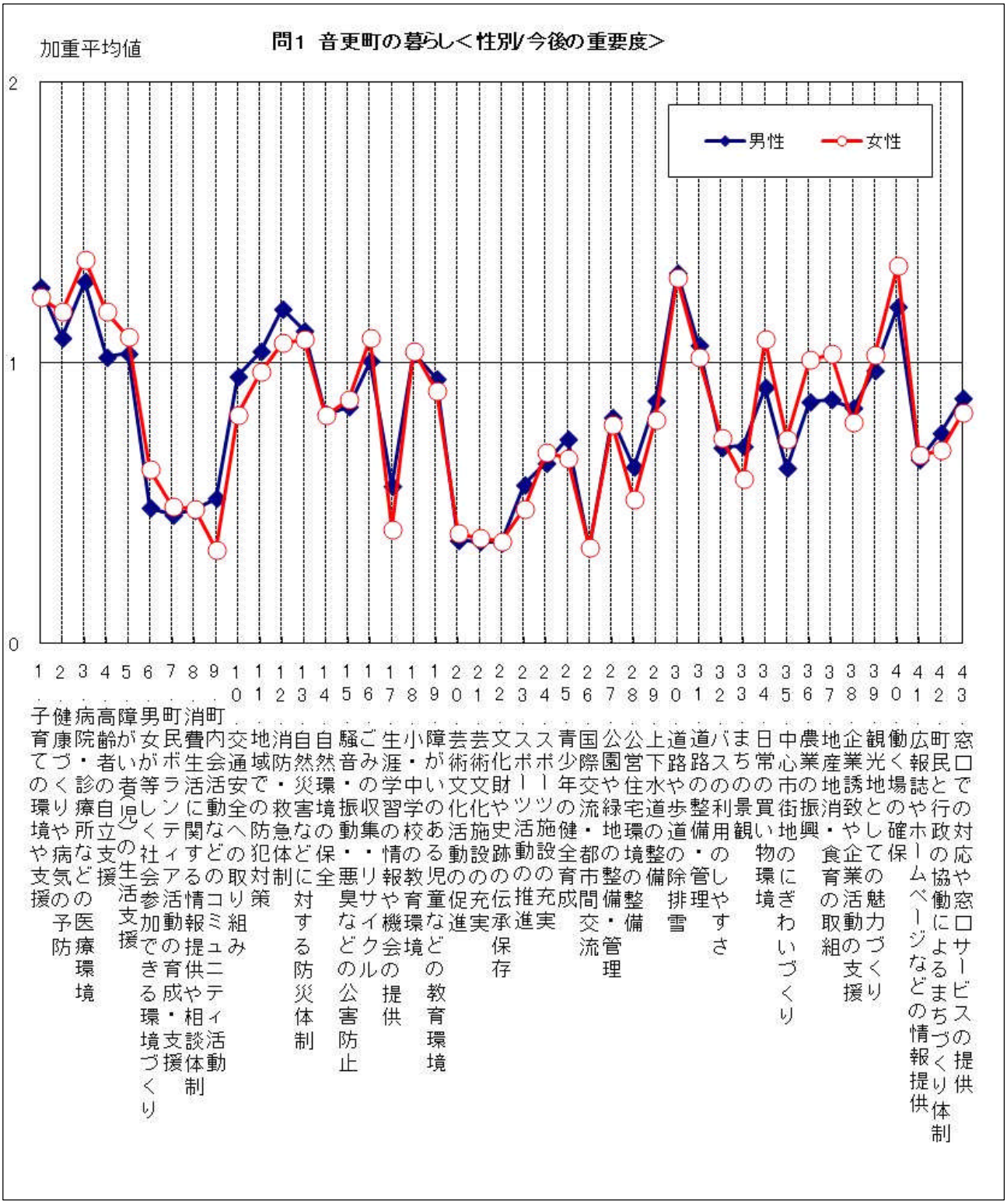
＜①満足度について/年齢別＞

年齢別にみると、60 代、70 歳以上といった高い年代の満足度が、全体的に高くなっています。



＜②重要度について/性別＞

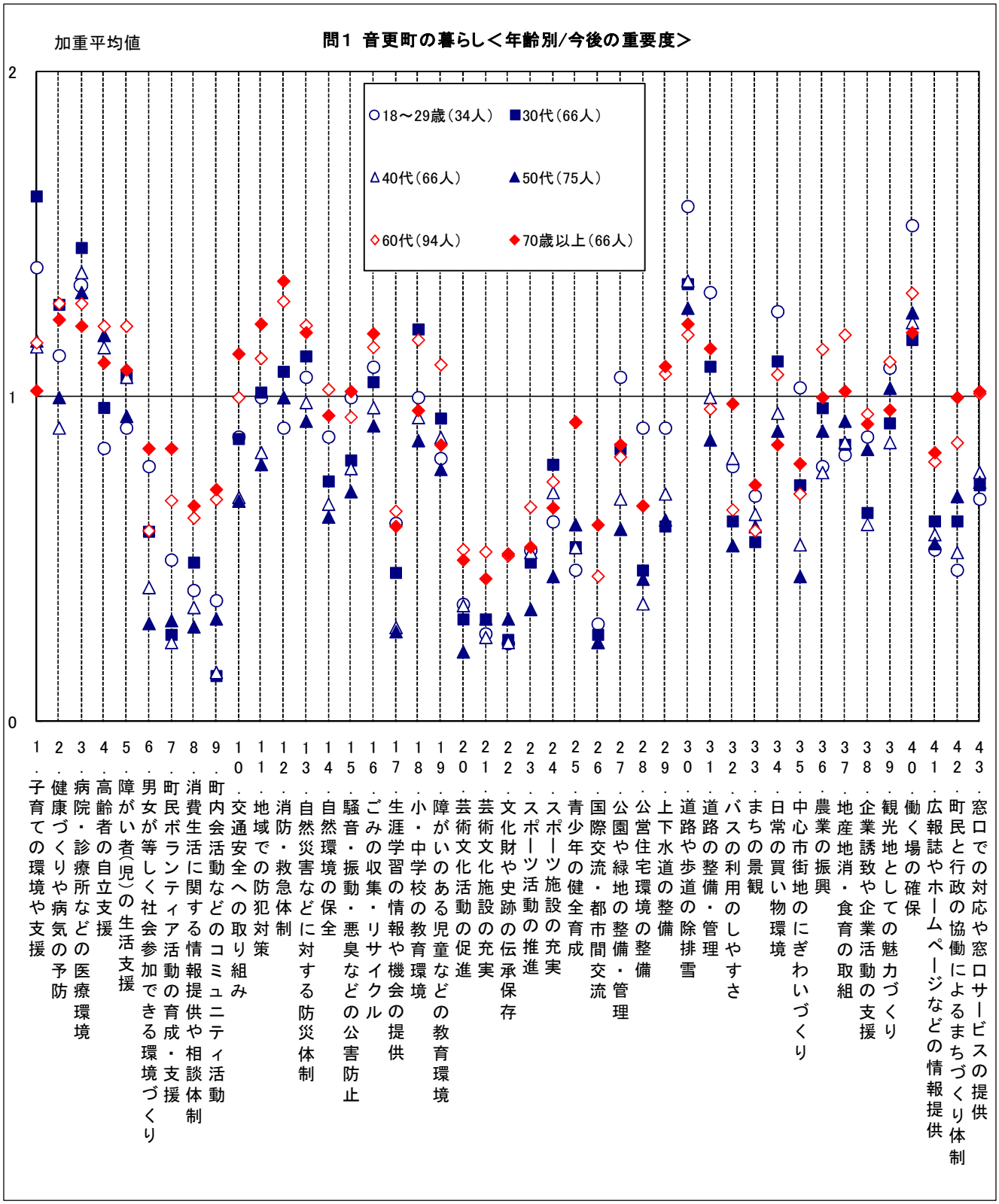
性別にみると、それほど大きな差はありませんが「4.高齢者の自立支援」「34.日常の買い物環境」「37.地産地消・食育の取組」のでは女性の重要度が男性より高く、「9.町内活動などのコミュニティ活動」では男性の重要度が女性より高くなっています。



＜②重要度について/年齢別＞

年齢別にみると、60 代 70 歳以上の重要度が、比較的高くなっています。「1. 子育ての環境や支援」や「3. 病院・診療所などの医療環境」などは若い年代の重要度が特に高くなっています。

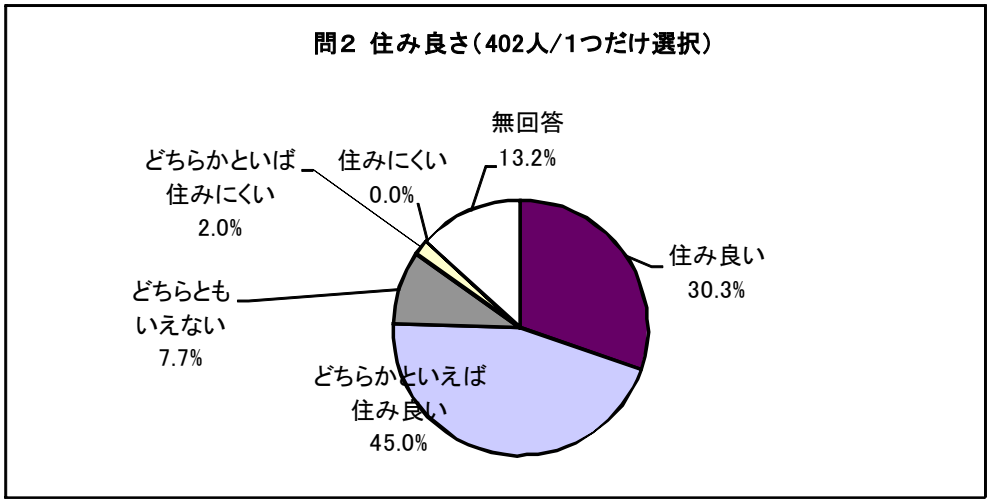
また、「25. 青少年の健全育成」や「43. 窓口での対応や窓口サービスの提供」では 70 歳以上、「27. 公園や緑地の整備・管理」「30. 道路や歩道の除排雪」「39. 観光地としての魅力づくり」では 18～29 歳の数値が、他に比べて高く、差がみられます。



【問２】音更町の住み良さ

【問２】総合的にみて、現在の音更町の住み良さはいかがですか。次の中から１つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

「どちらかといえば住み良い」が 45.0％と約半数を占め、「住み良い」（30.3％）、「どちらともいえない」（7.7％）が続きます。「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の合計は 75.3％ですが、今年度は無回答の割合が 13.2％と多く、無回答を除くと「どちらかといえば住み良い」が 51.8％と半数を占め、「住み良い」（35.0％）、「どちらともいえない」が続きます。「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の合計は 86.8％で、８割以上は住み良さを評価しています。

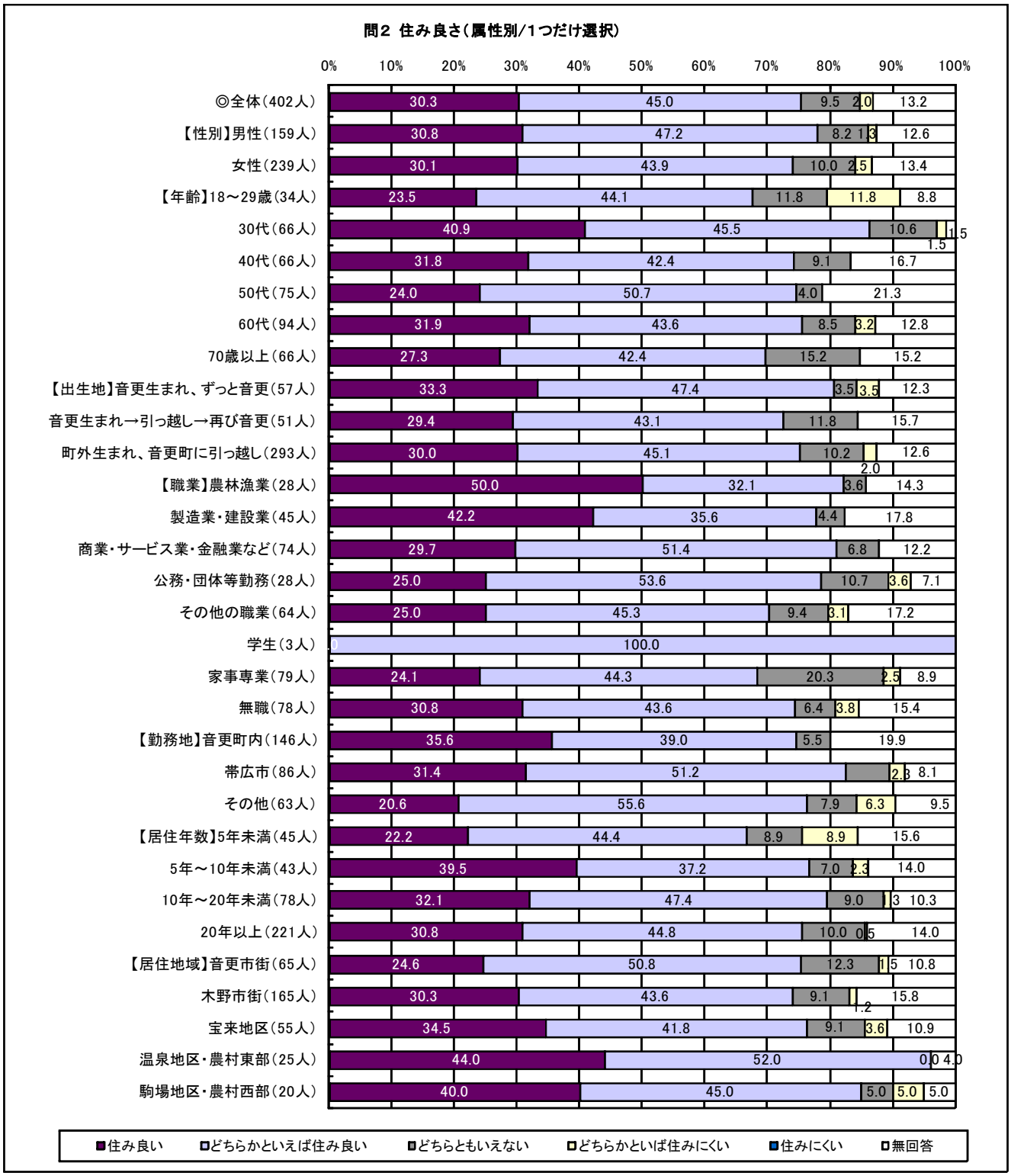


性別にみると、それほど大きな差はありません。

年齢別にみると、「住み良い」は 30 代、「どちらかといえば住み良い」は 50 代の回答率がそれぞれ最も高く、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の合計が最も高いのは 30 代（86.4％）です。

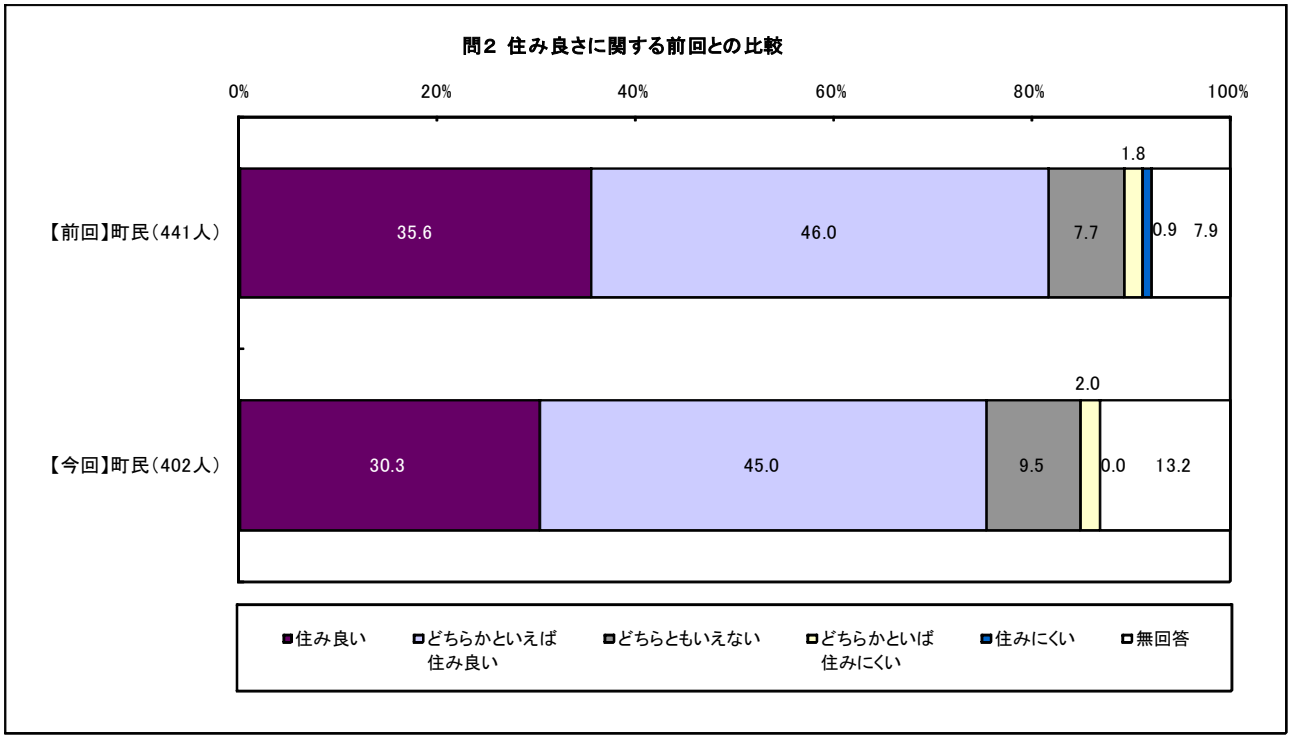
居住年数別にみると、「住み良い」は、5 年～10 年未満の回答率が最も高くなっていますが、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の合計は 10 年～20 年未満が最も高くなっています。

居住地区別にみると、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の合計が高いのは温泉地区・農村東部（96.0％）や駒場地区・農村西部（85.0％）です。

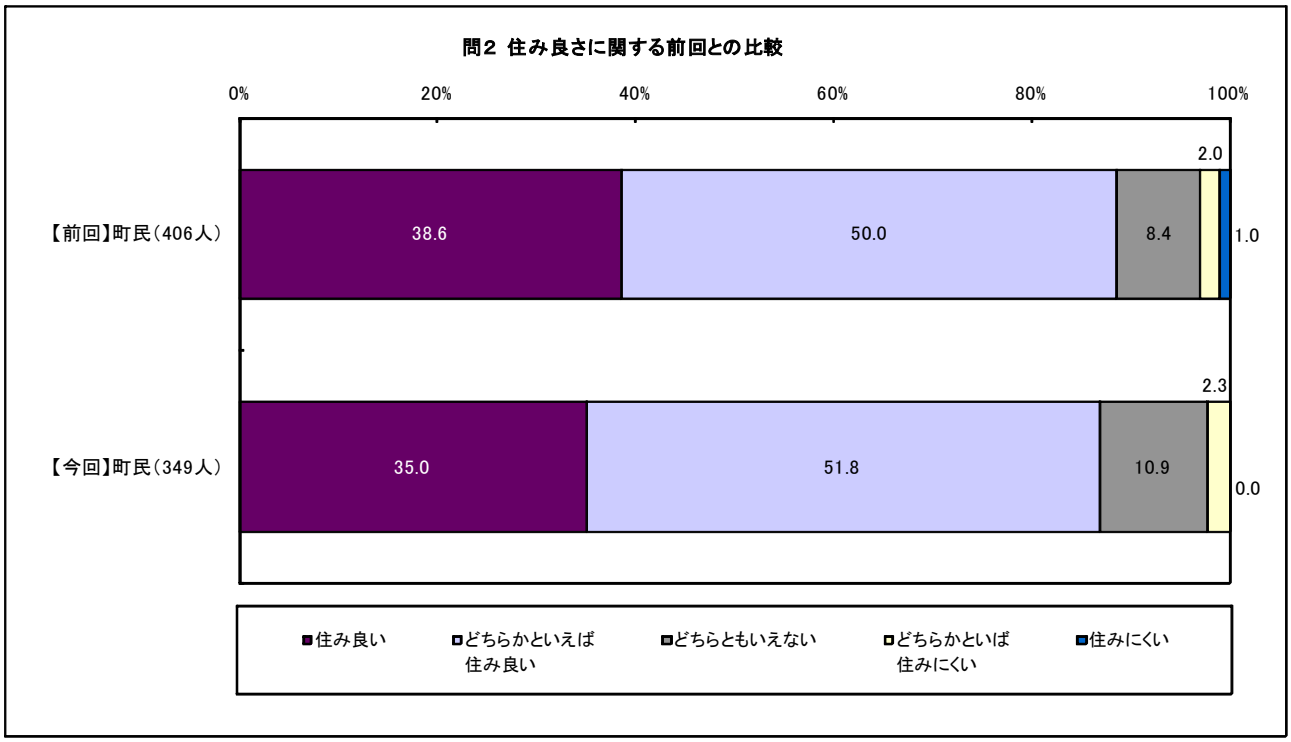

問2 住み良さ（属性別/1つだけ選択）
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
◎全体（402人） 30.3 45.0 9.5 2.0 13.2
【性別】男性（159人） 30.8 47.2 8.2 1.3 12.6
女性（239人） 30.1 43.9 10.0 2.5 13.4
【年齢】18～29歳（34人） 23.5 44.1 11.8 11.8 8.8
30代（66人） 40.9 45.5 10.6 1.5 1.5
40代（66人） 31.8 42.4 9.1 16.7
50代（75人） 24.0 50.7 4.0 21.3
60代（94人） 31.9 43.6 8.5 3.2 12.8
70歳以上（66人） 27.3 42.4 15.2 15.2
【出生地】音更生まれ、ずっと音更（57人） 33.3 47.4 3.5 3.5 12.3
音更生まれ→引っ越し→再び音更（51人） 29.4 43.1 11.8 15.7
町外生まれ、音更町に引っ越し（293人） 30.0 45.1 10.2 2.0 12.6
【職業】農林漁業（28人） 50.0 32.1 3.6 14.3
製造業・建設業（45人） 42.2 35.6 4.4 17.8
商業・サービス業・金融業など（74人） 29.7 51.4 6.8 12.2
公務・団体等勤務（28人） 25.0 53.6 10.7 3.6 7.1
その他の職業（64人） 25.0 45.3 9.4 3.1 17.2
学生（3人） 100.0
家事専業（79人） 24.1 44.3 20.3 2.5 8.9
無職（78人） 30.8 43.6 6.4 3.8 15.4
【勤務地】音更町内（146人） 35.6 39.0 5.5 19.9
帯広市（86人） 31.4 51.2 2.3 8.1
その他（63人） 20.6 55.6 7.9 6.3 9.5
【居住年数】5年未満（45人） 22.2 44.4 8.9 8.9 15.6
5年～10年未満（43人） 39.5 37.2 7.0 2.3 14.0
10年～20年未満（78人） 32.1 47.4 9.0 1.3 10.3
20年以上（221人） 30.8 44.8 10.0 0.5 14.0
【居住地域】音更市街（65人） 24.6 50.8 12.3 1.5 10.8
木野市街（165人） 30.3 43.6 9.1 1.2 15.8
宝来地区（55人） 34.5 41.8 9.1 3.6 10.9
温泉地区・農村東部（25人） 44.0 52.0 0.0 4.0
駒場地区・農村西部（20人） 40.0 45.0 5.0 5.0 5.0
住み良い
どちらかといえば住み良い
どちらともいえない
どちらかといば住みにくい
住みにくい
無回答

前回のアンケートとの比較

平成 24 年に実施したアンケート結果と比較すると、「住み良い」の割合が低くなっています。また、今回の調査では無回答の割合が増えており、無回答を除くと「どちらかといえば住み良い」が 51.8%、「住み良い」が 35.0%で、８割以上は住み良さを評価しています。



無回答ない場合

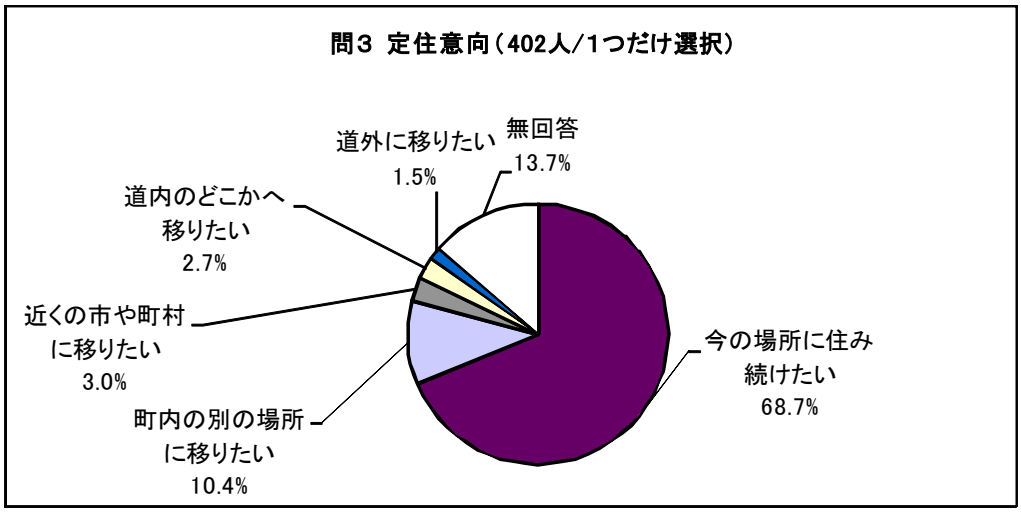


【問３】音更町への定住意向

【問３】これからも、音更町に住み続けたいと思いますか。次の中から１つだけ選んで、番号に〇印をつけてください。

「今の場所に住み続けたい」が 68.7％と最も高く、「町内の別の場所に移りたい」（10.4％）、「近くの市や町村に移りたい」（3.0％）が続きます。

「今の場所」と「町内の別の場所」の合計は 79.1％で、８割近くは今後も町内に住む意向を持っています。

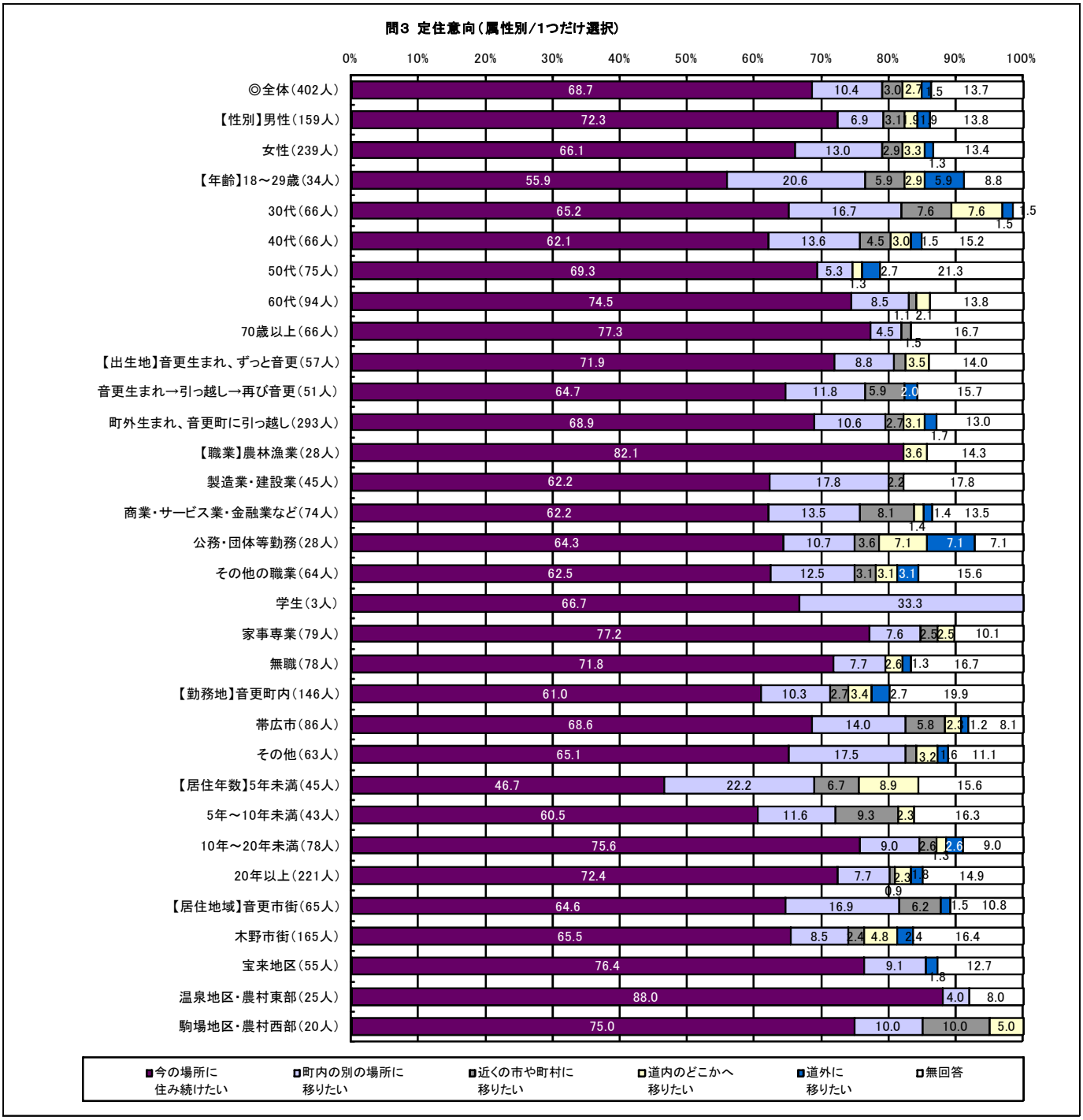


性別にみると、「今の場所に住み続けたい」は男性の回答率が高くなっています。

年齢別にみると、「今の場所に住み続けたい」は、70 歳以上が最も高く、年齢が高まるにつれて定住の希望が高まっていることがわかります。一方、18～29 歳では他の年代に比べて「町内の別の場所に移りたい」「道外に移りたい」について高くなっています。

居住年数別にみると、「今の場所に住み続けたい」は、10 年～20 年未満の回答率が高くなっています。

居住地区別にみると、「今の場所に住み続けたい」は、温泉地区・農村東部が９割近い回答率になっています。



＜「例えば」の記述内容＞

近くの市や町村： 帯広市(10)、芽室町

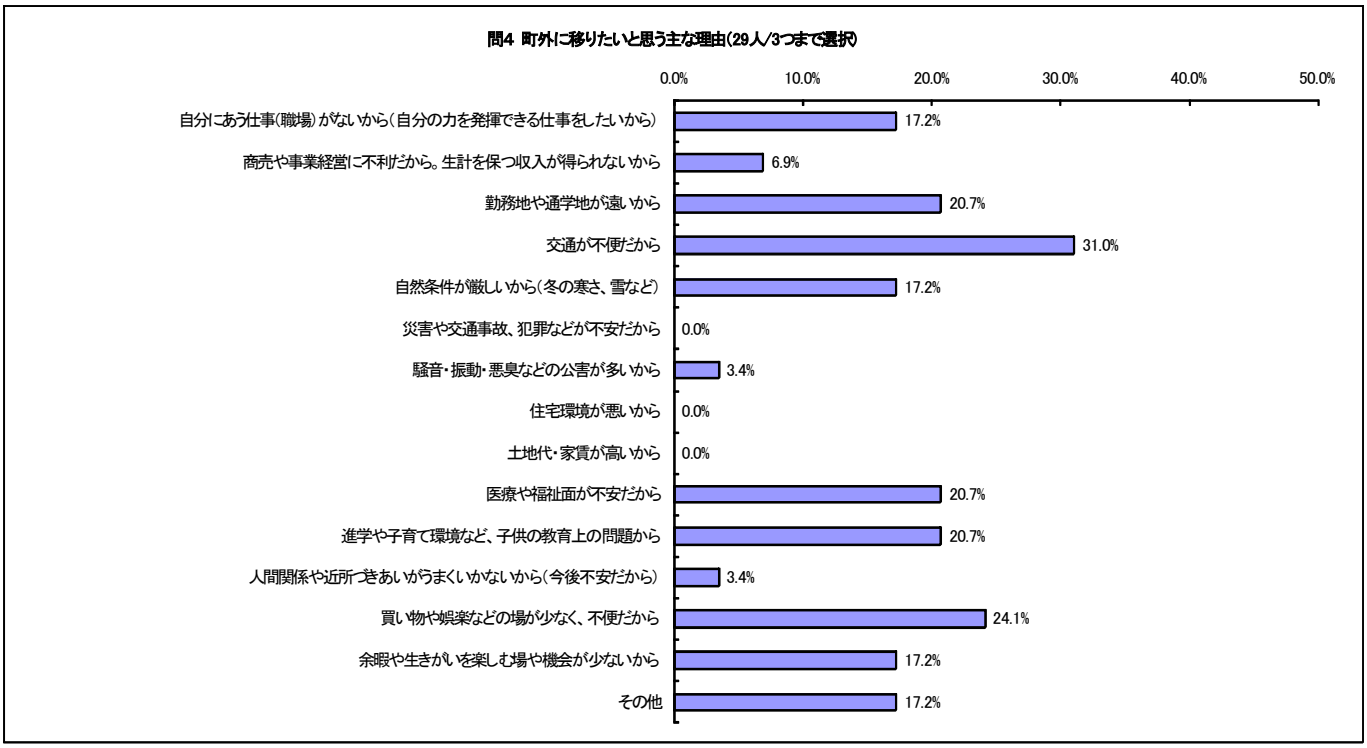
道内： 札幌市(6)、函館市、旭川市、伊達 (2)

道外： 東京都荒川区、岩手県、宮崎県、沖縄県

【問４】町外に移りたいと思う主な理由

【問４】前問（問３）で、３～５に○印をつけられた方におたずねします。町外に移りたいと思う主な理由はどのようなことですか。次の中から３つまで選んで、番号に○印をつけてください。

「交通が不便だから」(31.0%)が最も高く、「買い物や娯楽などの場が少なく不便だから」(24.1%)が続きます。



性別にみると、女性は「交通が不便だから」が１位となっています。

年齢別にみると、18～29 歳は「交通が不便だから」、30 代は「自分に合う仕事（職場）がない」「交通が不便」「子供の教育上」「買い物や娯楽などの場が少なく、不便」が同率で、40 代は「勤務地や通学地が遠い」「交通が不便」「医療や福祉面が不安」「子供の教育上」「買い物や娯楽などの場が少なく、不便」、50 代は「自然条件が厳しい」「余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ない」、６０代は「自然条件が厳しいから」を１位にあげており、年代ごとに差がみられます。

<table>
<tr><th></th><th></th><th>第1位</th><th>第2位</th><th>第3位</th><th>第4位</th><th>第5位</th></tr>
<tr><td rowspan="2">性別</td><td>男性
（11 人）</td><td>その他（4 人）</td><td colspan="4">自分にあう仕事（職場）がない（2 人）
勤務地や通学地が遠い（2 人）
交通が不便（2 人）
子供の教育上（2 人）
買い物や娯楽などの場が少なく、不便（2 人）
無回答（2 人）</td></tr>
<tr><td>女性
（18 人）</td><td>交通が不便（7 人）</td><td colspan="2">医療や福祉面が不安（5 人）
買い物や娯楽などの場が少なく、不便（5 人）</td><td colspan="2">通勤地や通学地が遠い（4 人）
自然条件が厳しい（4 人）
子供の教育上（4 人）
余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ない
（4 人）</td></tr>
<tr><td rowspan="6">年齢</td><td>18～29 歳
（5 人）</td><td>交通が不便（3 人）</td><td colspan="2">勤務地や通学地が遠い（2 人）
その他（2 人）</td><td colspan="2">自分にあう仕事(職場）がない（1 人）
商売や事業経営に不利（1 人）
子供の教育上（1 人）
買い物や娯楽などの場が少なく、不便（1 人）</td></tr>
<tr><td>30 代
（11 人）</td><td colspan="3">自分に合う仕事（職場）がない（3 人）
交通が不便（3 人）
子供の教育上（3 人）
買い物や娯楽などの場が少なく、不便（3 人）</td><td colspan="2">勤務地や通学地が遠い
（2 人）
医療や福祉面が不安
（2 人）
無回答（2 人）</td></tr>
<tr><td>40 代
（6 人）</td><td colspan="5">勤務地や通学地が遠い（2 人）
交通が不便（2 人）
医療や福祉面が不安（2 人）
子供の教育上（2 人）
買い物や娯楽などの場が少なく、不便（2 人）</td></tr>
<tr><td>50 代
（3 人）</td><td colspan="2">自然条件が厳しい（2 人）
余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ない
（2 人）</td><td colspan="3">医療や福祉面が不安（1 人）
買い物や娯楽などの場が少なく、不便（1 人）
その他（1 人）</td></tr>
<tr><td>60 代
（3 人）</td><td>自然条件が厳しい
（2 人）</td><td colspan="4">交通が不便（1 人）
医療や福祉面が不安（1 人）
余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ない（1 人）
その他（1 人）</td></tr>
<tr><td>70 歳以上
（1 人）</td><td colspan="5">無回答（1 人）</td></tr>
</table>

※１人３つまで選択

＜「その他」の記述内容＞

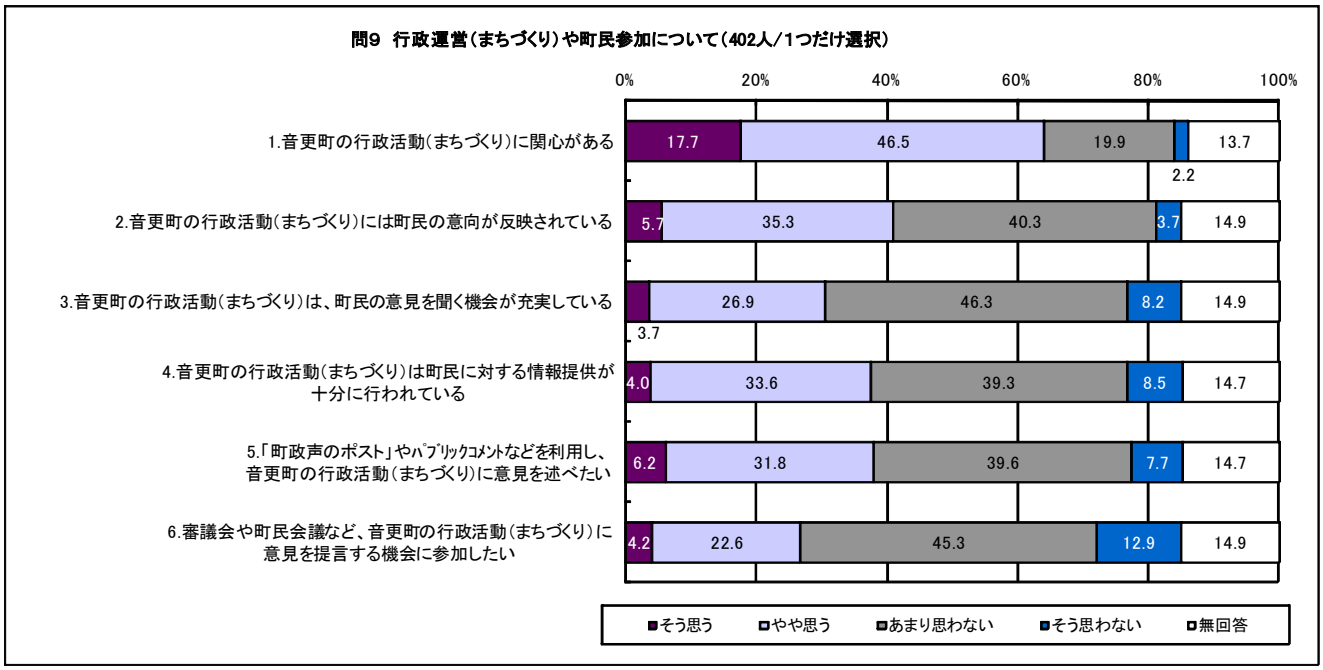
面白い仕事があれば、住む場所は問わない。/引っ越し予定のため。

【問５】行政運営（まちづくり）や町民参加について

【問５】行政運営（まちづくり）や町民参加に関する次の項目について、それぞれどのようにお考えですか。下の各選択肢（Ａ～Ｄ）から、あてはまるものをそれぞれ１つずつ選んで、○印をつけてください。

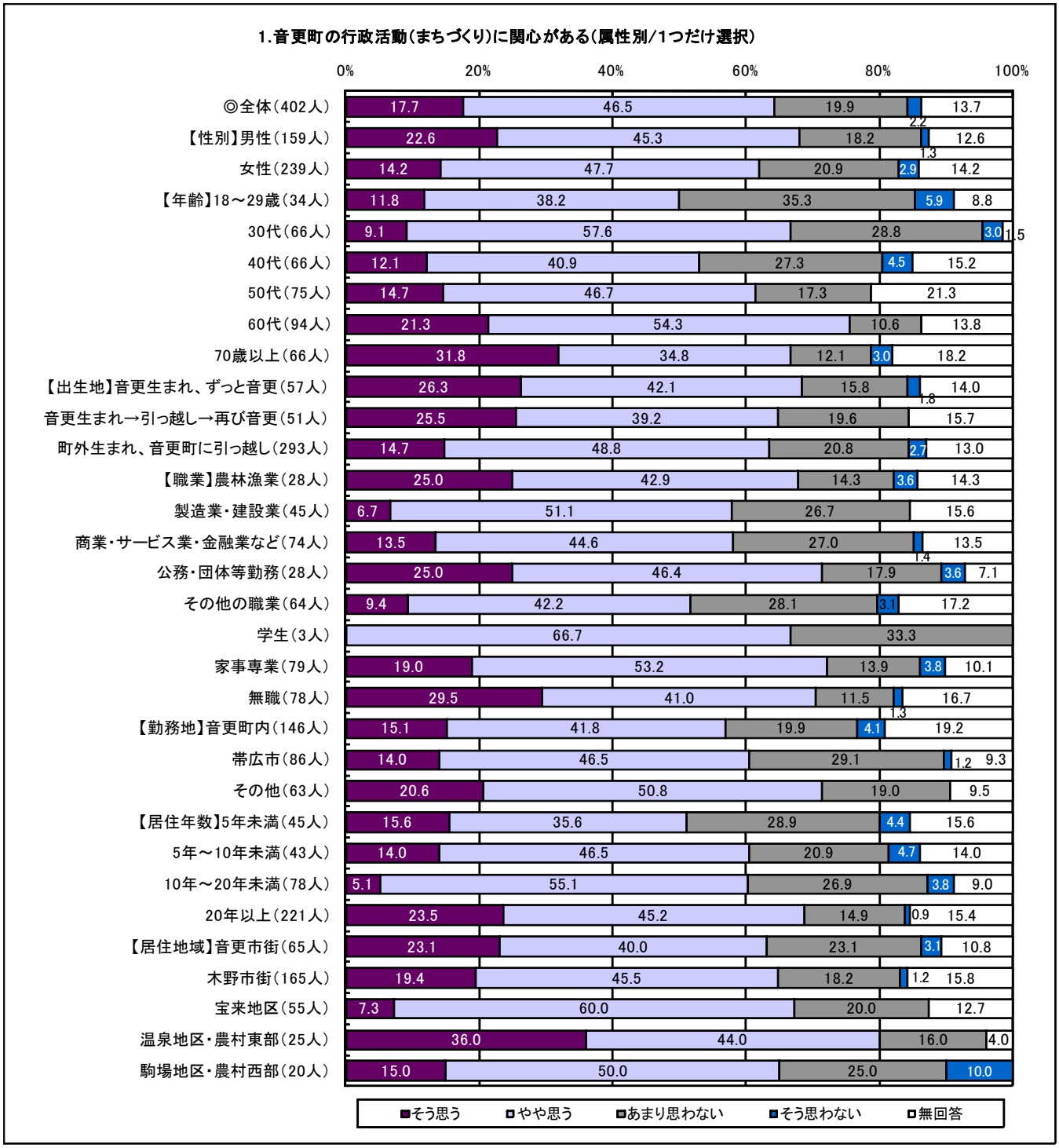
５つの項目のうち、「そう思う」が最も高かったのは「1. 音更町の行政活動（まちづくり）に関心がある」です。一方「そう思う」が最も低かったのは「3. 音更町の行政活動（まちづくり）は、町民の意見を聞く機会が充実している」です。

「そう思わない」が最も高かったのは「6. 審議会や町民会議など、音更町の行政活動（まちづくり）に意見を提言する機会に参加したい」です。



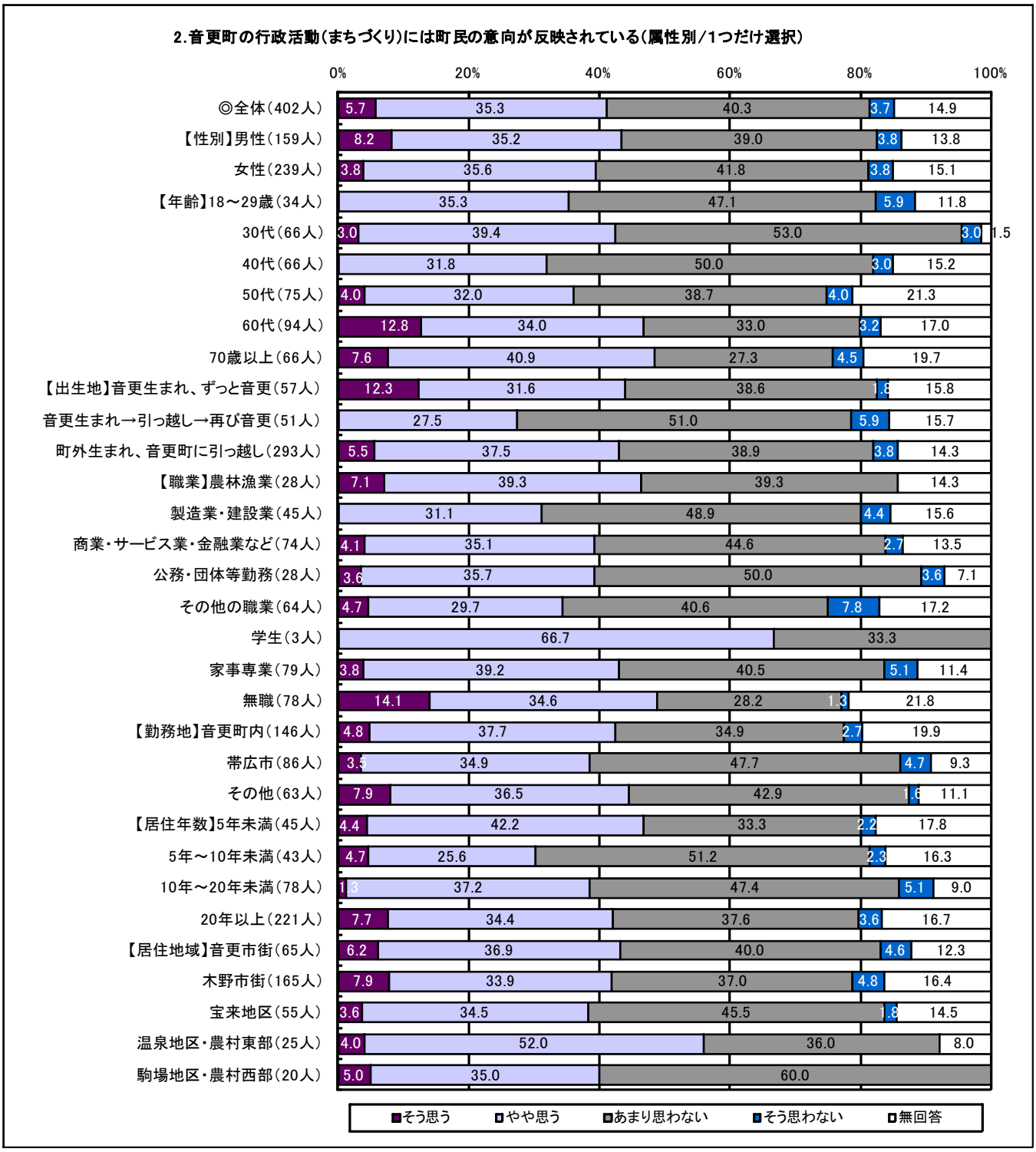
1. 音更町の行政活動（まちづくり）に関心がある

性別にみると、「そう思う」は男性の方が高くなっています。
年齢別にみると、年齢が高まるにつれて「そう思う」が高まる傾向にあります。



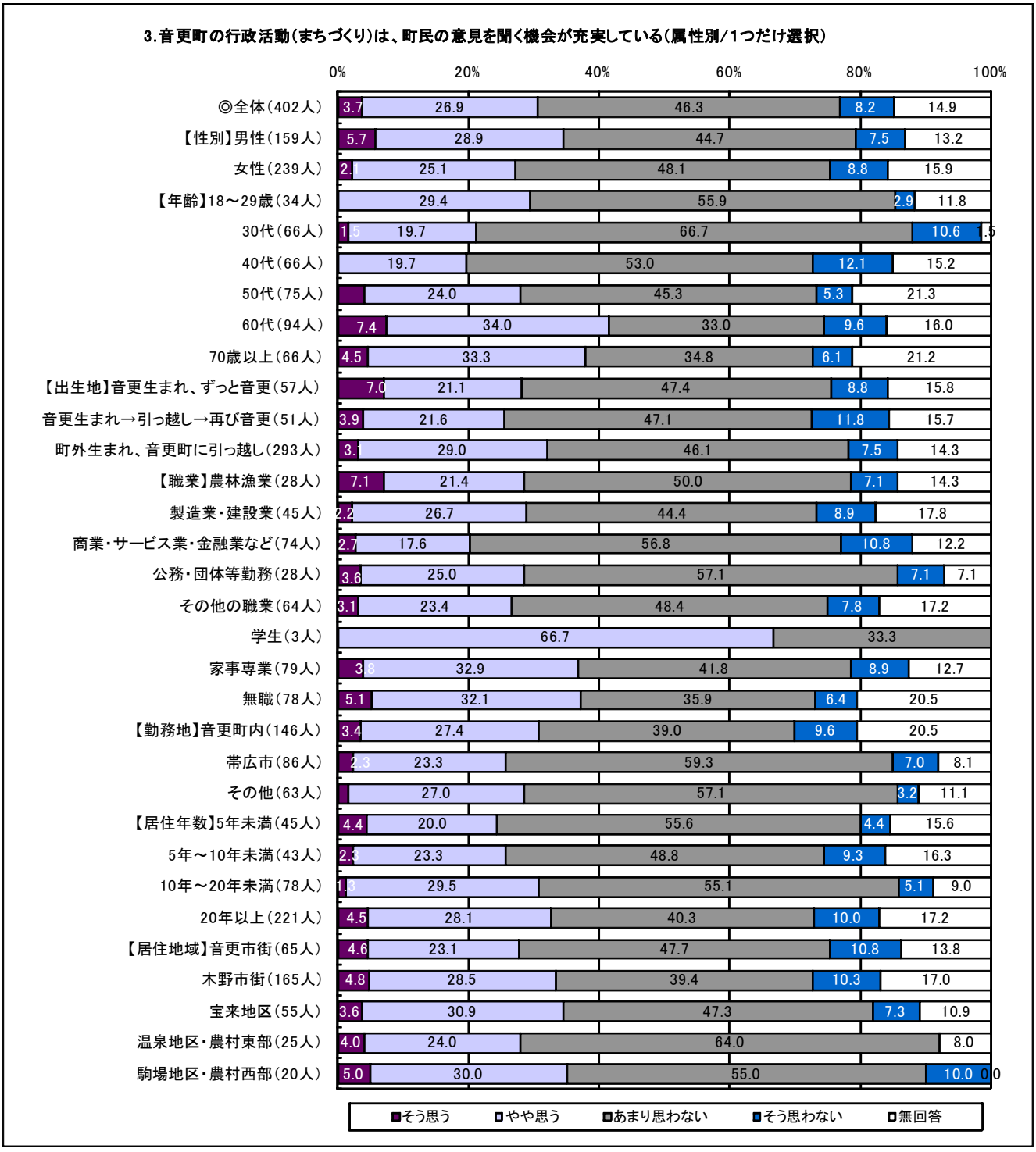
2. 音更町の行政活動（まちづくり）には町民の意向が反映されている

全体では、「そう思う」「やや思う」の合計割合は４割程度にとどまっています。
性別にみると、「そう思う」は男性の方が高くなっています。
年齢別にみると、30 代、60 代、70 歳以上では、肯定的な回答が高くなっています。



3. 音更町の行政活動（まちづくり）は、町民の意見を聞く機会が充実している

全体では、「そう思う」「やや思う」の合計割合は３割程度です。
性別にみると、「そう思う」「やや思う」ともに男性の方が高くなっています。
年齢別にみると、60 代、70 歳以上で「そう思う」「ややそう思う」の割合が高くなっています。

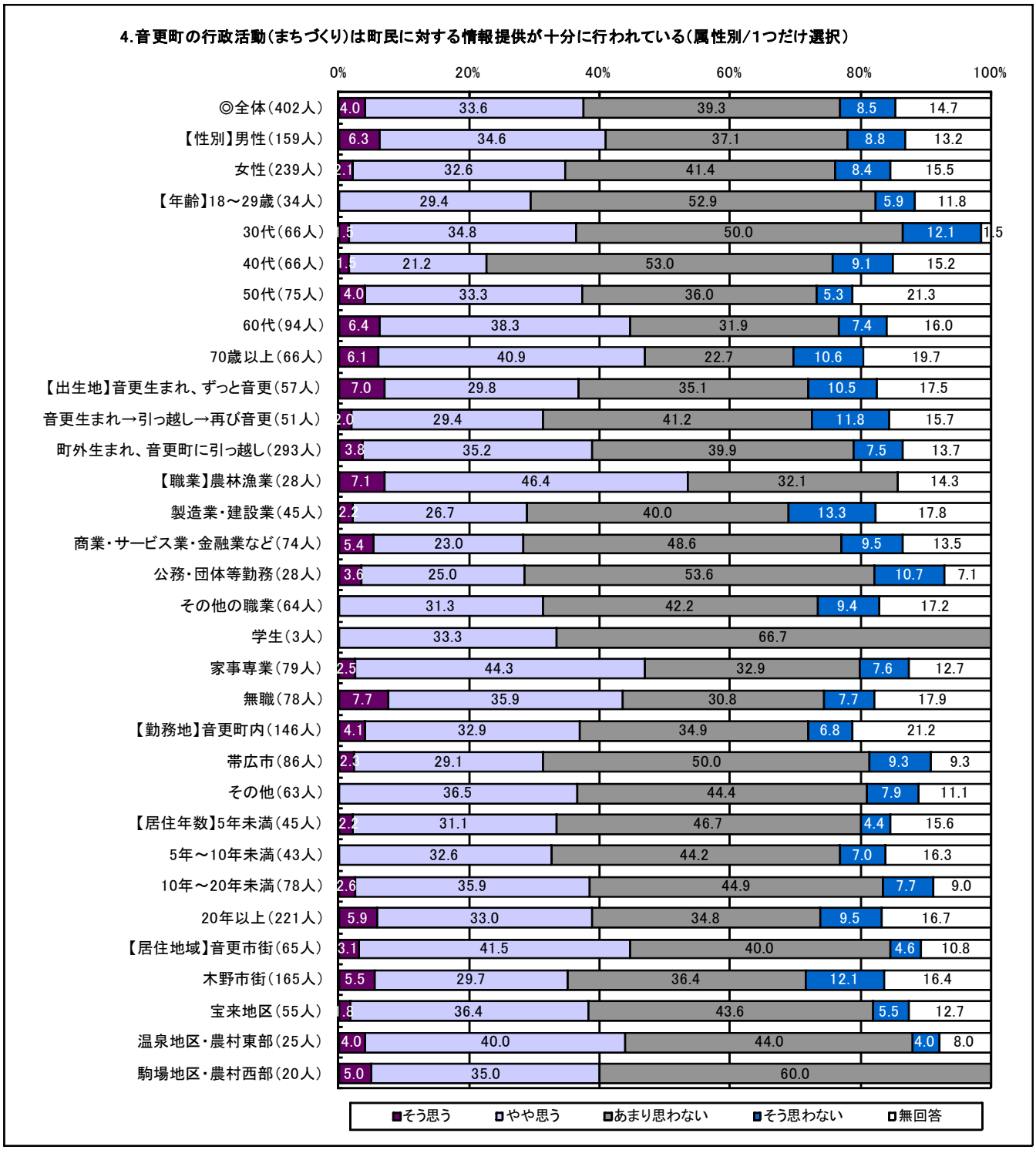


4. 音更町の行政活動（まちづくり）は町民に対する情報提供が十分に行われている

全体では、「そう思う」「やや思う」の合計割合は４割程度です。

性別にみると、「そう思う」「やや思う」は男性の方がやや高くなっています。

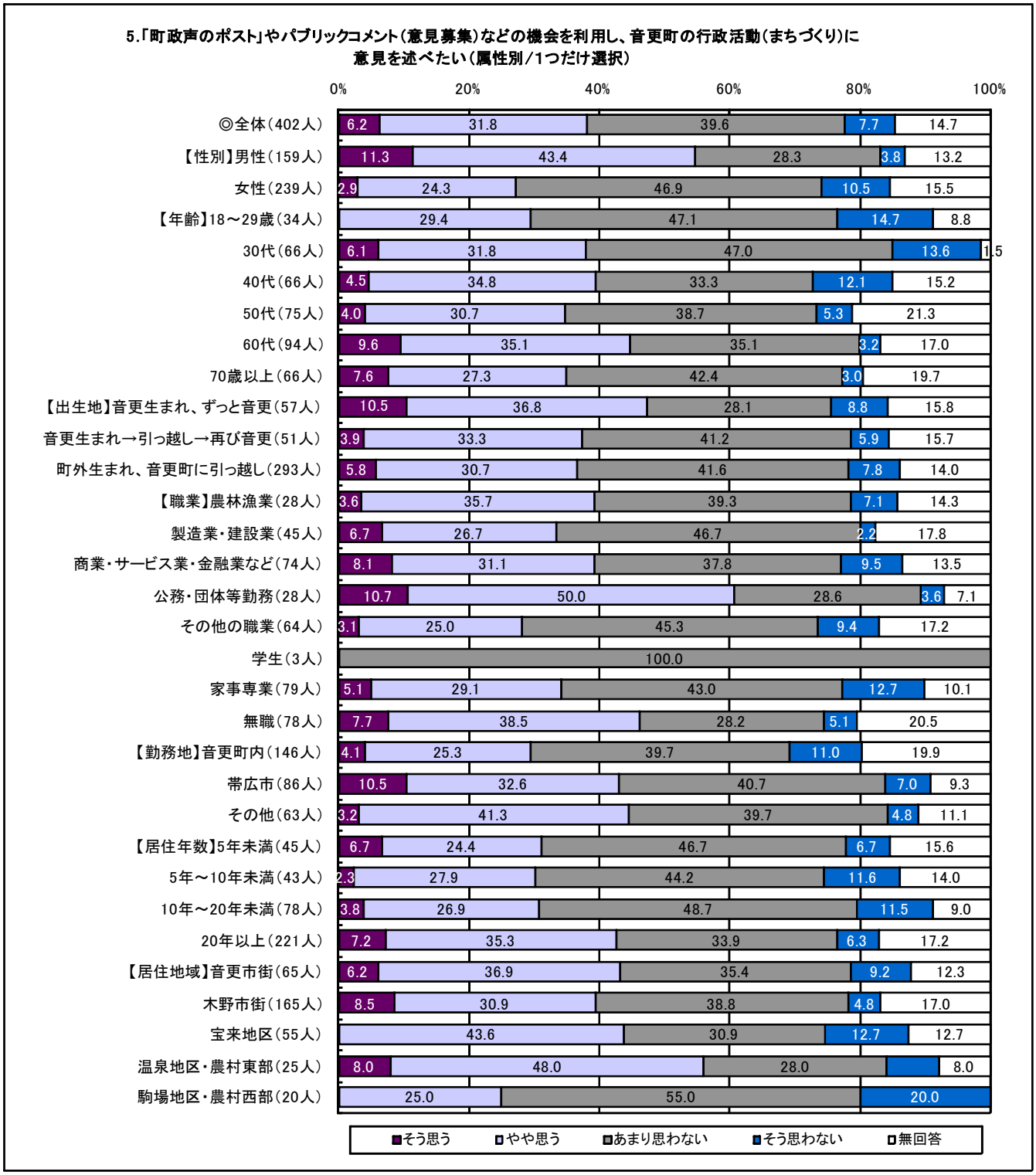
年齢別にみると、60 代、70 歳以上では、４割以上が肯定的ですが、40 代の割合が低くなっています。



5. 「町政声のポスト」やパブリックコメントなどを利用し、音更町の行政活動（まちづくり）に意見を述べたい

性別にみると、「そう思う」「やや思う」ともに男性の方が高くなっています。特に「やや思う」で男女の差がみられます。

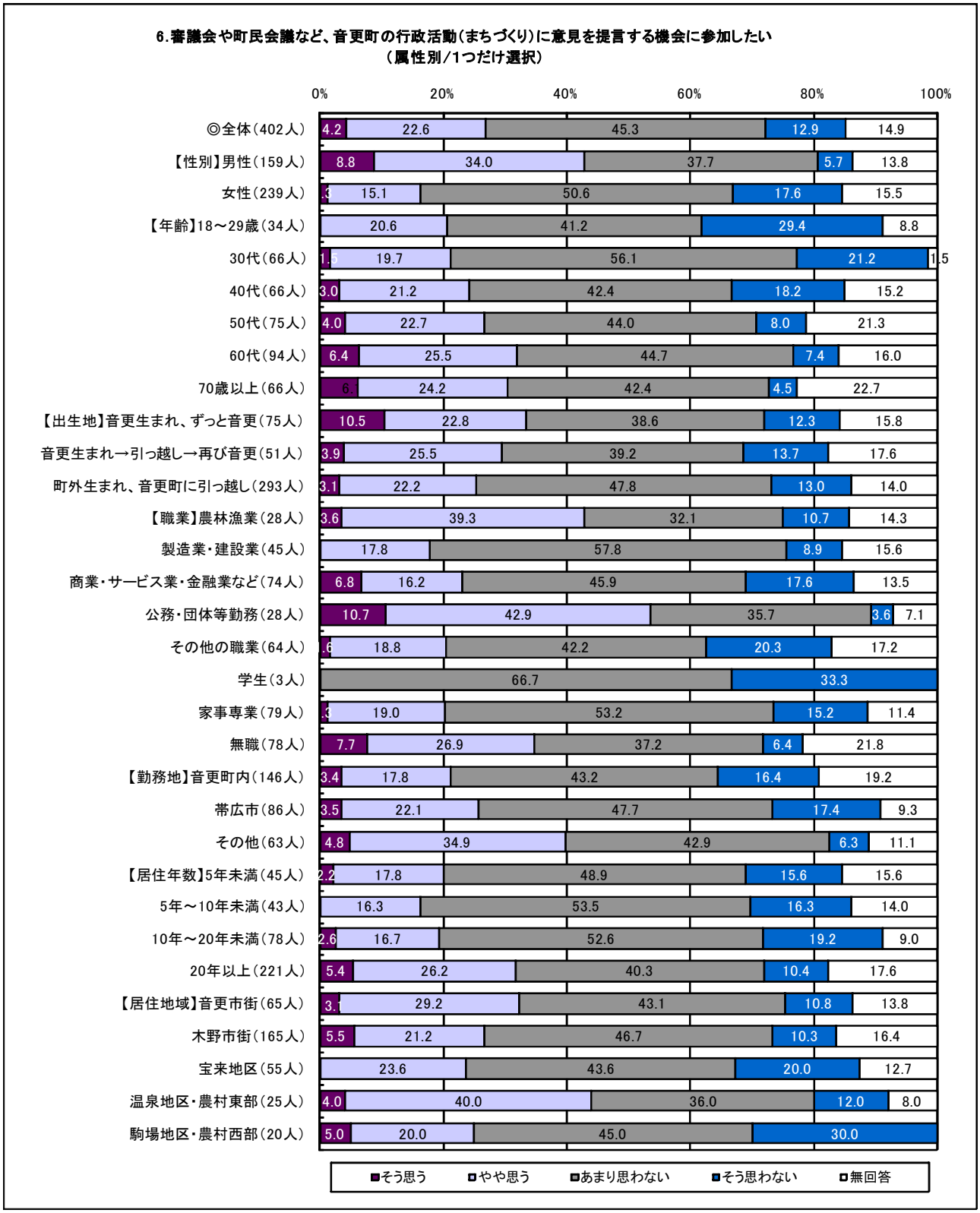
年齢別にみると、60 代で肯定的な回答がやや高くなっています。



6. 審議会や町民会議など、音更町の行政活動（まちづくり）に意見を提言する機会に参加したい

性別にみると、「そう思う」「やや思う」ともに男性の方が高くなっています。特に「やや思う」で男女の差がみられます。

職業別にみると、農林漁業、公務・団体等勤務で肯定的な回答が他に比べて高いことがわかります。



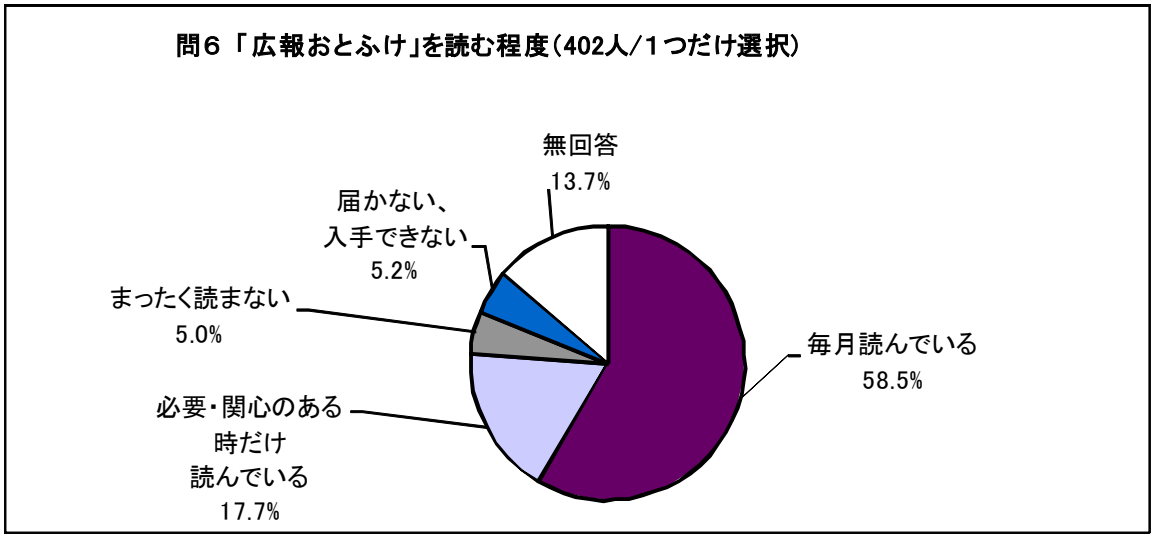
【問６】「広報おとふけ」と町のホームページを読む程度

【問６】音更町では、毎月１回発行の「広報おとふけ」と町のホームページで、町に関する情報をお伝えしています。あなたは、それぞれ、どのぐらいご覧になりますか。次の中からそれぞれ１つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

「広報おとふけ」について

「毎月読んでいる」が 58.5%と最も高く、「必要・関心のある時だけ読んでいる」（17.7%）が続きます。

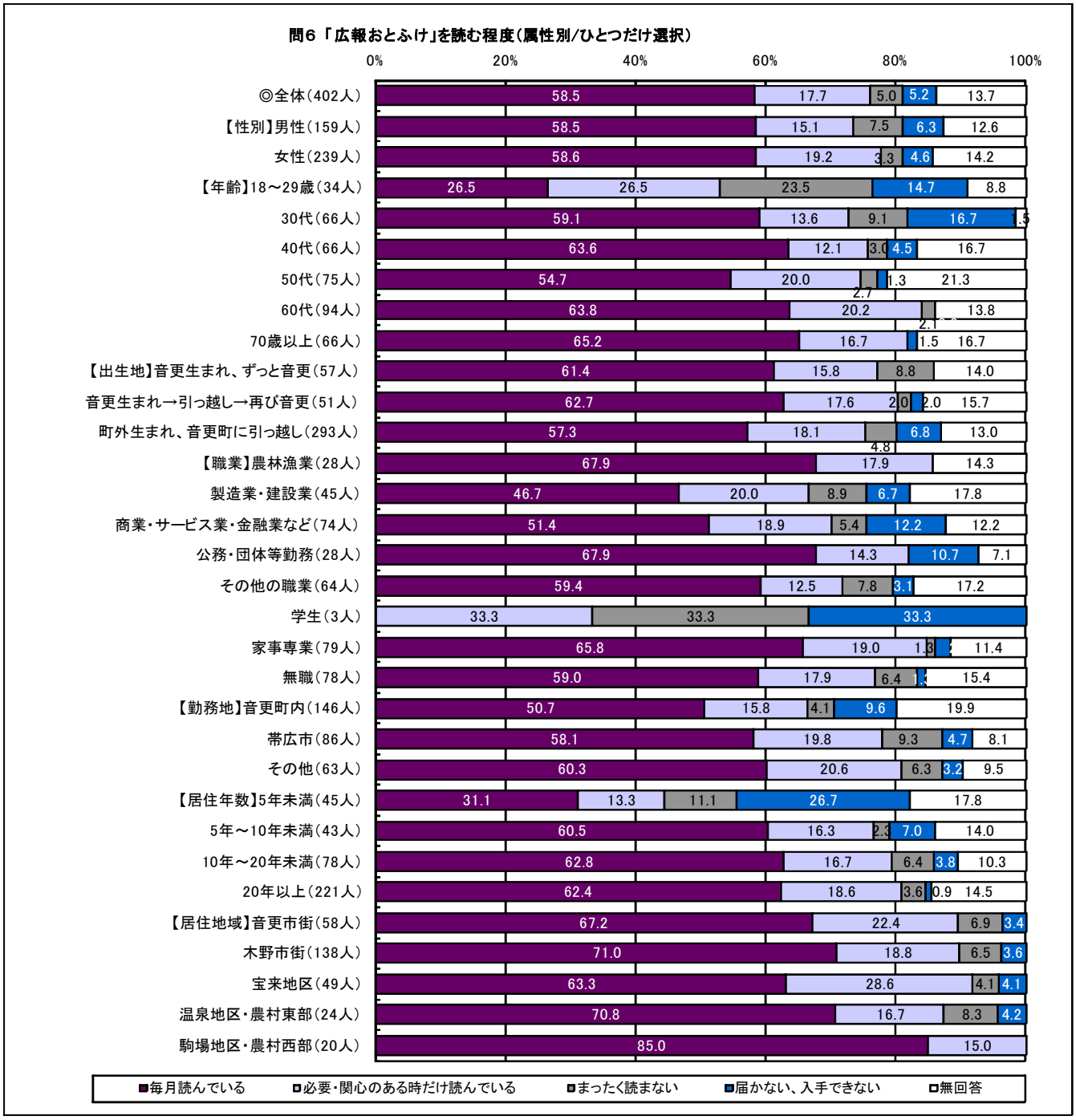
「届かない、入手できない」という回答も 5.2%を占め、「無回答」も 13.7%と他の設問に比べて高めです。



性別にみると、回答傾向に大きな差はみられません。

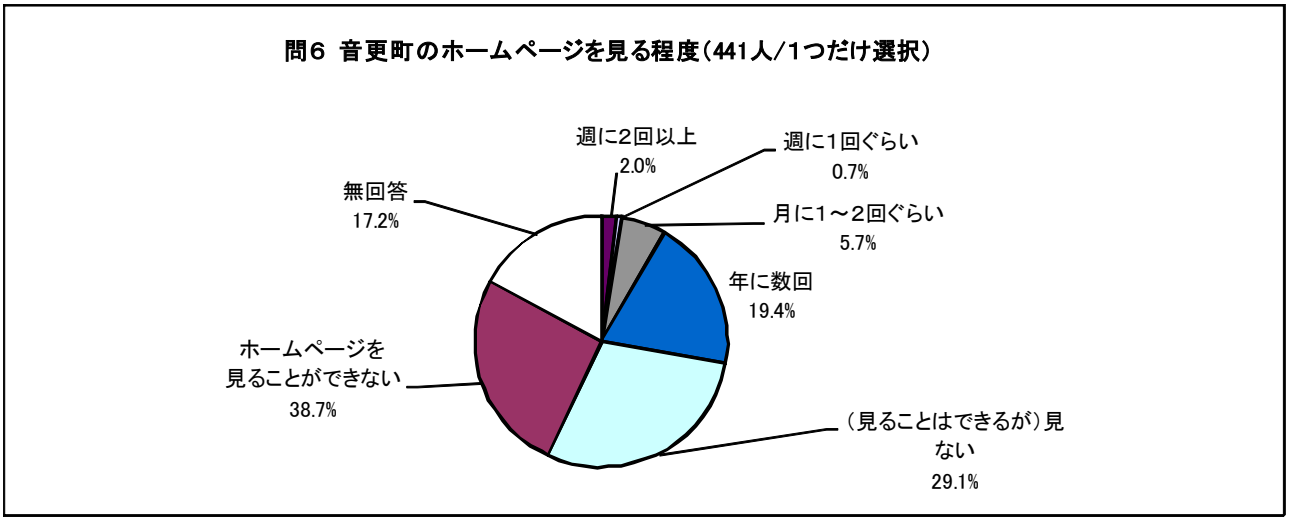
年齢別にみると、18～29 歳では「毎月読んでいる」という回答が他年代に比べて著しく低くなっています。

居住年数でみると、5 年未満や 5 年～10 年未満では、「届かない、入手できない」という回答も他に比べて高くなっています。


問6「広報おとふけ」を読む程度（属性別/ひとつだけ選択）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
◎全体（402人） 58.5 17.7 5.0 5.2 13.7
【性別】男性（159人） 58.5 15.1 7.5 6.3 12.6
女性（239人） 58.6 19.2 3.3 4.6 14.2
【年齢】18～29歳（34人） 26.5 26.5 23.5 14.7 8.8
30代（66人） 59.1 13.6 9.1 16.7 1.5
40代（66人） 63.6 12.1 3.0 4.5 16.7
50代（75人） 54.7 20.0 2.7 1.3 21.3
60代（94人） 63.8 20.2 2.1 13.8
70歳以上（66人） 65.2 16.7 1.5 16.7
【出生地】音更生まれ、ずっと音更（57人） 61.4 15.8 8.8 14.0
音更生まれ→引っ越し→再び音更（51人） 62.7 17.6 2.0 2.0 15.7
町外生まれ、音更町に引っ越し（293人） 57.3 18.1 4.8 6.8 13.0
【職業】農林漁業（28人） 67.9 17.9 14.3
製造業・建設業（45人） 46.7 20.0 8.9 6.7 17.8
商業・サービス業・金融業など（74人） 51.4 18.9 5.4 12.2 12.2
公務・団体等勤務（28人） 67.9 14.3 10.7 7.1
その他の職業（64人） 59.4 12.5 7.8 3.1 17.2
学生（3人） 33.3 33.3 33.3
家事専業（79人） 65.8 19.0 1.3 11.4
無職（78人） 59.0 17.9 6.4 15.4
【勤務地】音更町内（146人） 50.7 15.8 4.1 9.6 19.9
帯広市（86人） 58.1 19.8 9.3 4.7 8.1
その他（63人） 60.3 20.6 6.3 3.2 9.5
【居住年数】5年未満（45人） 31.1 13.3 11.1 26.7 17.8
5年～10年未満（43人） 60.5 16.3 2.3 7.0 14.0
10年～20年未満（78人） 62.8 16.7 6.4 3.8 10.3
20年以上（221人） 62.4 18.6 3.6 0.9 14.5
【居住地域】音更市街（58人） 67.2 22.4 6.9 3.4
木野市街（138人） 71.0 18.8 6.5 3.6
宝来地区（49人） 63.3 28.6 4.1 4.1
温泉地区・農村東部（24人） 70.8 16.7 8.3 4.2
駒場地区・農村西部（20人） 85.0 15.0
毎月読んでいる
必要・関心のある時だけ読んでいる
まったく読まない
届かない、入手できない
無回答

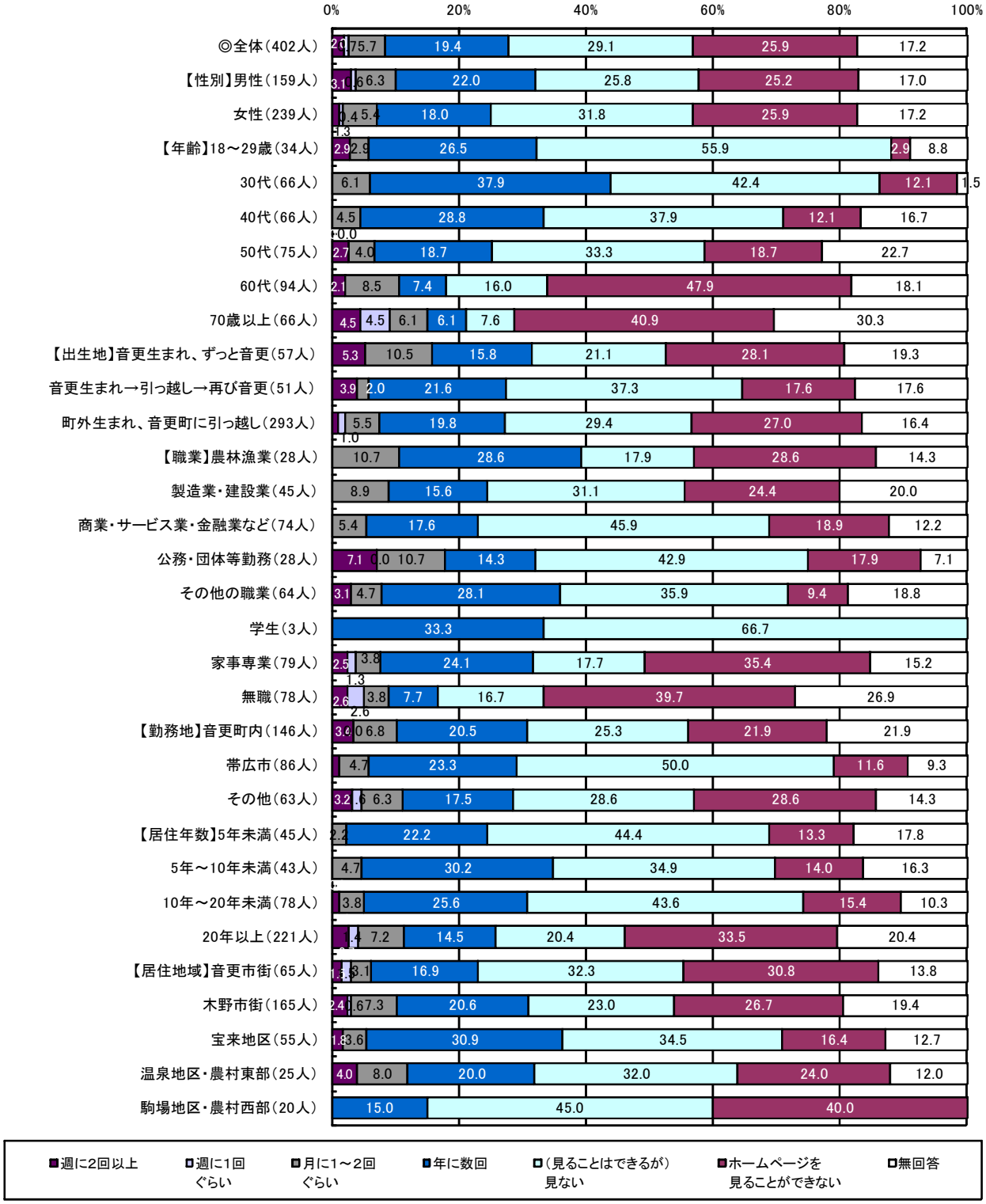
町のホームページについて

「ホームページを見ることができない」が 38.7%と最も多く、「(見ることはできるが) 見ない」(29.1%) が続きます。
実際に見ている回答の中では、「年に数回」(19.4%) が最多です。



性別にみると、回数に関わらず男性の方が“見る”という回答率がいずれも高くなっています。
年齢別にみると、“見る”という回答の合計(「週に２回以上」「週に１回」「月に１～２回」「年に数回」の合計) は、30 年代が最も高くなっています。一方、年齢が高くなるにつれて「見ることができない」の割合が上昇します。

問6 音更町のホームページを見る程度（属性別/1つだけ選択）



【問7】「広報おとふけ」とホームページの改善点

【問7】「広報おとふけ」とホームページについて、改善すべき点がありましたら下の枠内にご記入ください。

広報	内容	内容も含めてワンパターンなので見やすいと言えば見やすいが、「あっ、また」と感じるパターンが多い。だからといって、こうして欲しいという意見はないけれど。
		通信員が偏っている。
		広報に関して、子ども向けの内容の記事があれば良い。読み仮名があれば図書のコーナーなど子どもでも楽しめる。
		町の様子をチラホラと読み取り参加できるスポーツとかを見ている。町議会の様子も知らされる中で広報紙を読んでいる。ホームページ等メカに弱いので、毎月の広報紙を心待ちしている。
		広報紙が毎月パターン化していて面白味がないので、広報担当の方がもう少しアイディアを出し合って欲しい。
		特に変わったこともなく、町内の回覧板にすぎない。
		音更町の企業、職場の紹介、求人などのせて欲しい。
		完璧なできばえの広報という印象だが、キャラクターを使って楽しく説明をしたり、思わず笑える様なところも欲しい。
		広報は見やすいと思う。興味をひきつける様な話題があったらより良くなると思う。
		「広報おとふけ」については、一度さっと目を通すだけ。何年も校正すら変わらず、ただ文書を並べてあるだけのような気がする。
		音更町に限らず、広報というと、どこの町村も堅苦しい感じがする。もう少し気軽に読めるコーナーがもう少しあってもよいと思う。
		親しみやすいわかりやすいものにして欲しい。実際に足で歩いて集めた記事や町のできごと等も多くして欲しい。
		広報の「まちの話題」のページを増やし、各地域の情報を町民に知らせては。
		音更町で内職の募集を出して欲しい。
		内容がマンネリ、毎年同じような内容。
		個人情報の問題もあるかと思うが、町内で活動している「人」「グループ」をテーマにしたものを記事にしてはどうか。
		普通。特別に「読みたい！楽しみ！」と言う程ではない。一方的に提示された物という感じ。町民からの発信が少ない「役場からのお知らせ」的なもの。
		若い人も興味が持てる内容を載せて欲しい。
		広報に町政声のポストなどへの意見、要望などの回答コーナーを作ってはいかがか。
		見ていて中身がないというか魅力がない。いつも役所の宣伝が多すぎる。通信員報告も人数を増やして。農業関係の資料がほとんどない。最近では、ぺらぺらとめくる程度。このままだと町民の皆さんに届ける必要があるか。もう少し頑張って欲しい。
		町の職員が実際外に出て直接町民の声をひろうくらいの気持ちが欲しい。
		良くできているので満足。
		細かい情報提供を。いつも同じことしか書かれていない。
	レイアウト	一部カラーにしてはどうか。内容がおきまり。
		「広報おとふけ」今まで見たことがほとんどなかった。今回、このアンケートをきっかけに見たが、結構タメになることが書いてあった。が、字が多すぎてもっと写真とか図とかあった方が見やすい。
		広報は大筋は良いが、終わりの方にある情報が見づらい。募集は募集、情報は情報と分けたり、色を変えたりして欲しい。全体的に字が多く、レイアウトも目が滑る。
		子供達も興味を持って読める工夫、グラフ、図形を多様して、分かり易い言葉で今の情報を伝えて欲しい。
		じっくり見る機会がないので、あまり魅力が感じない。もう少し見やすく、誰にでもわかりやすくして欲しい。暦、行事も見づらい。

広報	レイアウト	広報での周知には限度があるのは承知のうえですが、羅列が多くメリハリがない。どうしても知らせたい、知って欲しいものには、タイトルの拡大、色刷り、イラスト加筆など工夫が欲しい。「まちの話題」「ふるさと通信員」欄などは、スペース等十分取っているのに…。
	配布	町内会に入ってないので届かない。たまに支援センターや支所でもらってくる。ポストに届いてくれれば尚助かる。
		町民税も支払い、守るべきルールを守って生活しているのに、広報が自動的に手元に届かないのが理解できない。情報がない。仕事でなかなか役所に行けず子育てもしていて、外出は大変。ネットもない。
		毎月発行するのをあと3～5日ぐらい早めて欲しい。個人の家に配布されるのが少し遅いように思う。色々な予定がのっているのに間に合わない場合がある。
		引っ越してきたばかりで入手できなくて、積極的に見ていない。
		あまり注意してみていないが、スーパー、コンビニ、町の施設、銀行などの金融機関などの身近な場所でわかりやすく、目立つ場所に、いつでも取りに行けるように広報を置いて欲しい。（もし、もう置いてあったらすみません）
	その他	広報はとても見やすい。
		班長さんによって届くのが遅いので、HPで広報が見れると良い。見れるなら、お知らせして欲しい。
		広報は今までどおりで良い。
		ページ数が多い、紙が良すぎる、回数が多い、もっと簡素化して経費を減らして欲しい。
		広報を月1回出しているが、ネタ集め等苦労していることと思う。そこで、ページ数の確保ではなく、重要性を優先した、ページの増減、あるいは、隔月も考慮に入れてもと思う。また、内容をもう少しシンプルにして、読みやすい工夫を。
		広報課員の皆さんのご苦労を目の下にして、結果町民がどれだけ読んでいるかが疑問。例えば、区長等の集まりで、広報掲載内容の確認に「読んでいない人」が相当数。勿論ホームページの開設などには？町内会員に読ます苦労が多い。
		十分だと感じている。
		見る物がないのでわかりません。
		役場の職員名簿はいらない。
ホームページ	内容	下部の広告の意味がわかりづらい。
		Fece Book作って欲しい。おもしろい発信等をしてほしい。周りの若い人はあまり広報を見てないと思うので、ネットの方が若い人には良い。
		HPはわかりやすいし、見やすくて良い。仕事上、申請書・様式をDLすることが多いが、せっかくあそこまでたくさんDLできるなら、PDFではなく、エクセルでDLして、PCに必要事項を打ち込み、自宅・会社で印刷できた方が、楽で良い。
		ホームページの内容充実は、町外の人に、観光、移住のきっかけになると思う。
		ホームページは以前に比べてずっと良くなった。広報は若い人があまり見ないので、お得な情報を知らない人も多いのでは。FacebookやTwitterの活用も検討されては。
	レイアウト	ぱっと見でお堅いイメージが強いので、イラスト等で楽しく観れるHPにして欲しい。明るいイメージが欲しい。
		ホームページはもっとわかりやすくしたほうが良い。
		トップページはもっと誰でも見やすく、他市町村、道外の方にアピールできるものが良い。
		HPは全体的に見づらい。あまり魅力的に見えない。もっと農業や温泉など、町の色味を強く出した方が良いと思う。町の特色や特性が感じられない。
	検索	4種混合ワクチンについての記述を探すのに苦労した。
		HPについては、よく利用しますが、以前よりは見やすくなったようですが、もっと他の市町村を参考にして、もっと検索しやすくしてほしいです。
	更新	ホームページは更新が早くなった。
	その他	ホームページがあるということをこのアンケートを見て知った。

ホームページ	その他	おとふけのホームページがあることを知らなかった。他にも知らない人が多いと思う。ホームページの存在をもっといろんなところでお知らせしてみると良いかも。
		もっとかんたんにホームページが見れれば良い。
		ホームページは見たことがないのでわからない。
		老人などはホームページを見ることができない。パソコンがない人などについても考えて欲しい。
		あまり良くわからないので、ホームページは必要がないと思うが、改善する様にして欲しい。
		パソコンなし。
		ホームページは、見たことがなく、この機会で知ったので見てみる。同じように、知らないという方もいると思うので、もっと知ってもらうようにしてはどうか。
共通	内容	高齢者の生活に関する記述を記載してほしい。
		管外の人達が覗いた時の魅力に欠ける。音更の一番のアピールは何かを示して欲しい。
		別に他の行政と同様、特に特徴はないが、悪い所はない。
		わかりづらい。
		音更町内の業種別の件数又は会社の数など、どのような企業が多いのかわかるようにして欲しい。
	レイアウト	広報やHPは、整理されていて見やすい。
	その他	現状に満足している。
		編集ご苦労様です。
		良いと思う。
		今のままで良いと思っています。
		見ないのでわからない。

【問8】まちづくりへのアイデアや提案

【問8】最後に、今後のまちづくりにおける新たな取り組みや重点的に行うべき取り組み、まちづくりへのアイデアやご提案などがあれば、下の枠内にご記入ください。

区分		内容	性別	年齢
子育て支援	保育園	保育所は入れるようにして欲しい。	女性	18～29歳
		学童保育や保育園の充実もお願いしたい。	女性	40～49歳
		子育て環境をもっと充実して欲しい。これだけ子どもの数があるのに幼稚園が2つしかないことや、保育園にも入所しずらいこと。	女性	30～39歳
		親の交流の場や通園できる所を増やして欲しい。	女性	30～39歳
		音更町の保育園の体制は幼稚園のようで、それに証明だけを出して、実際は働いていないのに、子どもを保育園へ預けているのを役場、保育園側が黙認している。働いていないのに、源泉徴収票を出している会社があるとしたら、脱税をしていることになり、保育園側も黙認しているとなると、役場自体がそれに荷担していることになる。保育士（正職員）もレベルが低い。臨時保育士と同じ仕事しかしないのであれば、高い給料を税金で払っていること自体、私たち町民にとって負の財産。	女性	30～39歳
		保育園の先生の数が、民営化された所と町営の所でなぜ違いが出るのか。人数が少ないとサービスが低下するのは当たり前だと思う。	女性	50～59歳
		保育園での町営と民営との先生方の対応が全く違う。町営は机上定規、園長からして「よい役所仕事」。	女性	50～59歳
	遊び場	学童保育所のあとの、小学校高学年や、中学生の集会場所みたいなものが欲しい。共働きだと、家にいて親の目が届かないことが多いので、健全な遊び場が欲しい。	女性	30～39歳
		幼児が安心して遊べる様。	男性	50～59歳
		3歳になる娘がいますが、もう少し子どもの遊び場が多くなると嬉しい。あとは、保育園とか幼稚園の情報をわかりやすく教えて欲しい。	女性	18～29歳
		小、中学生等の子供達の放課後の居場所となる様な施設があるといいなと思う。	女性	30～39歳
		子育て世代の住民を増やすために、子育て環境を整えるべきだと思う。釧路市の遊学館のような室内遊びの場を作ったりするのも良い。乳児から中学生までに対応しているとなお良い。プロスパ2階にゲームを持った子供達がたむろしているのを見ると、正直よい環境ではないので、子供達が安心して遊べる場があると良い。	女性	40～49歳
		子育て支援について、働く母親が安心して子どもを預けて働けるような町づくり。幼稚園が少なく、どうしても町外へ流れる。町内に魅力的な幼稚園があればいいと思う。何かに特化した園とか。（例えばスポーツ幼稚園など）	男性	18～29歳
		子育ての支援が他の町村に比べ手薄な感じがする。	男性	18～29歳
		季節労働者家族への援助。（保育料等）	男性	30～39歳
		働いている親は、習い物に通わせたり、学習を見る時間がないので、都市部で行っているような送迎サービスや学習を見るプロとの連携、メールでの子どもの所在サービスなどもあると良い。子育てタクシー等への助成があれば、親の送迎ができなくても、習い物等ができるのにと思う。他の町にはない取組をお願いしたい。	女性	40～49歳
		母親、子ども達の声をもっとくみ取るべき。→老人にかかる予算を母親、子供達にもっと配分すべき。	男性	40～49歳
		学童保育所　木野は2カ所の方が良かったと（人数多すぎる）思う。また、資格のない人がだんだん多く採用しているのが不思議である。また、もうこの時代に有資格者にするべきである。親たちはこの件に関しては知らない人が多いと思う。（絶対におかしいと思う）子供達をもっと大事にして欲しい。	女性	50～59歳
		子育てしやすい町づくり→買い物、病院、保育園、習い事、企業など。	女性	18～29歳
		子だくさん（3人以上）になった家族への手当てや祝い金など（少子化対策）。	女性	30～39歳
保健	助成	妊婦の予防接種の助成があるのはいいことだが、音更町内に産科が無いのにも関わらず、町外で予防接種を受けた場合の手続が複雑すぎる。また、病院側も申請用紙の記入についてよくわかっていない。スムーズに申請できないような助成は使いたくても使えない。特に働いている方や妊婦にとってはストレスになる。今後も妊婦対象の助成があるならば、町外の帯広の産科とも連携を図って、スムーズに利用できるようにしていって欲しい。	女性	18～29歳
		中学生までの医療費無料。	女性	40～49歳
		中学生までの医療費を無料にする（できなければせめて小学生の間だけでも）。	女性	50～59歳
	病院	産婦人科が音更にできたら良い。	女性	30～39歳
		良い大きな病院を作って欲しい。空き建物を活用するようにして欲しい。	女性	50～59歳
高齢者	施設	これからは、高齢化社会になるので、老人ホーム等増えてくればいいと思う。	女性	60～69歳
		老人の住みよい環境にして欲しい。楽しみ方、住宅施設の充実が心配。	女性	60～69歳
		年寄りのボランティア精神を奨励する。	女性	60～69歳
		高齢の人々が暮らせる町、1人暮らしにやさしい町。	女性	50～59歳

高齢者		要介護の母親と2人で暮らしているが、小規模多機能を利用していても、まだまだ在宅で安心して暮らすにはサービスが不十分。現在利用している事業所は、スタッフが皆さん親切で対応も良いが、訪問日を忘れたり、忘れ物が多かったりと不安な面もある。今後母親が介護度が上がったとき、果たして24時間きめこまやかなサービスができるのかと不安。町がもっと介入して、指導して欲しい。	女性	40～49歳
高齢者		老人運動会の時の自家用車乗り合わせを解消して欲しい。老人会単位の参加なのであれば、会ごとのバスの利用などの費用を出すべきではないのか。	女性	50～59歳
		高齢者の社会活動に積極的に参加させ、ボランティア活動を推進する。	男性	不明
		高齢化にともない、年寄りと幼児がふれあう場所づくりとか、軽作業などで健全な体づくり等できる様なこととか、健康面を大事にした町づくりをして欲しい。	男性	50～59歳
		年寄りが安心して健康でより長生きできる様。	男性	50～59歳
		高齢者を中心とした、町民ボランティアを組織し、環境、教育、文化活動等の補完をして欲しい。	男性	60～69歳
障がい		発達障がいに対する支援が芽室に比べ遅れている。	女性	30～39歳
		子どもの障がいについて、常に学校や役場等から情報を発信して欲しい。	女性	50～59歳
		障がい児に対する支援が少ない。	女性	30～39歳
福祉		赤ちゃんのオムツ手当があったら良い。	女性	30～39歳
		福祉面の充実望む。	男性	60～69歳
		息子は先天性の心臓病だが、現在は、乳幼児医療のカードで病院にかかったお金は負担なく診断できて、とても助かっている。今後は、どのようなサポートや助成などを受けられるのか全くわからないので、そのような情報を何らかの機会でいつでも知れたらとても助かる人が増えると思う。	女性	30～39歳
交通安全		新しい宅地の増加により通学する子どもの数も増えている。通学路に信号がない場所をわたる子どもも少なからずいると思う。手押し信号でも良いので必要な場所にぜひ設置して欲しい。東通と三号が合わさる十字路は交通量も多いため是非検討して欲しい。	女性	30～39歳
		他の町でもあるが、交通に関して、その地域に住んでいる人はわかっているが、他の地域から来るとわからない地元ルールが活用される場所では、小、中学生や、自転車等も多く、不安になることも多いので、交通標識や道路の拡張、整備を頑張ってやって欲しい。	男性	30～39歳
		ひびき野にはたくさん幼児、小学生がいるが、東町、仲町の1丁目から2丁目に行く道路には信号も横断歩道もなく危険。家の前には「止まれ」もあるが、見落として直進して行く車もあり、怖いと感じる。ここ1～2年で事故も2件。横断歩道があると、ドライバーが少し注意するきっかけになるのでは。	女性	30～39歳
防災		柳町学童保育園広場に防火用水池ある。40年ぐらいになっているが、安全か。一度確認点検して欲しい。	男性	70歳以上
		いつ起きるかわからない災害に対して、年に一度でも実際に防災訓練をしてみる。その地域の避難場所の提示を誰もが見える場所に各地域毎に設置してあれば日頃からの認識ができるのでは。（例えば、各地区別の電信柱など）	女性	60～69歳
		若い人子育て世代が少なく、年寄り増で災害等の協力体制を各地区でしっかり作るべき。	女性	70歳以上
環境		自然再生エネルギーの取組をもっと重点的に進めて欲しい（風力、太陽光、バイオエネルギー、水力発電等）。	男性	60～69歳
		自然から私たちは多くの恩恵を受けて、生活しているので、もう少し自然を大切にして良いと思う。先祖があって我々がいることをわすれずに。	女性	70歳以上
		今、元コカコーラ工場跡地に、色々と店が建つという話があり、工事が進められているが、いつ頃には店が沢山立ち並ぶ計画なのか。そんなに色々と立つなら、他のことにも力を入れるべきかと思う。自然の森や生き物の生態も生きられる環境も作って。	男性	30～39歳
ゴミ		ゴミステーションのカラス対策。	男性	18～29歳
		緑のゴミを無料にして、町中に緑を豊かにする。	女性	60～69歳
		学校と町内会合同で行うゴミ拾い、清掃活動、町内会で行っている場所はきれい。町内会で行っている場所以外を何らかの形で分散して行えないか。1日は清掃の日とか、何か意識できればいいなと思う。カラスがゴミを散らかすのは防ぎたい。一件一件ゴミを集めていただいて感謝している。	女性	50～59歳
		曜日と時間を守り、透明か半透明の袋に入れて出しているが、子どものオムツを収集してくれない時がある。どういうことなのか。	男性	30～39歳
		ごみ袋が高すぎる。もう少し安くして欲しいと思う。	女性	50～59歳
		ゴミ収集の件だが、ひびき野西町は、なぜ片方だけなのか。音更本町は各家庭の前に置いている。片方だけだと人の家の前にゴミを置かなければならない。置く人も置かれる人も嫌な思いをしている。	男性	60～69歳
		残ったゴミをどうにかして欲しい。年寄りが分別できていない。	女性	18～29歳
		木野にも宝来にもマンションが多くなり、ゴミ出しでいつも目を覆いたくなる所が何カ所かある。マンションに入る時に、町のゴミ出しのルールの書面を渡すとか、音更町に住む人なら、きちっとマナーを守るべきで、マンションを管理する人も考えて欲しいので、広報などで問うてみてはどうか。町内会ではクリーン作戦でごみひろいや花壇の草取りをやっている。	女性	60～69歳
教育	給食	音更の自校給食はすごいと思う。もっとアピールすべき。	女性	60～69歳

教育	高校	音更町内に高校が1校しかなく、音更町に近い高校が柏葉高校と、あとは帯広市西側、南側にあり、子どもの通学（高校）へは不便を感じる。もう1校町内にあればと思う。	男性	50～59歳
	大学	大学の誘致。	男性	30～39歳
		帯広畜産大学と共に総合大学的なことを考える計画することが望ましい。	男性	不明
		教育支援の拡充。	男性	40～49歳
		子どもたちが、音更町をもっと理解できるように、地域農業や製造業の体験学習や、見学の機会があるといいと思う。地産地消の食育の取組を町民参加でもっとやった方が良いと思う。安さを追求する人ばかりではない。安全で安心して食べられる物を望む人はたくさんいるし、それを子どもたちが知ることで、生まれ育った音更町に対する愛着や、誇りも生まれるのではないかと思う。	女性	30～39歳
教育		子どもへの環境教育、食育等は大変重要なもの。役場内に専門家がいないのであれば、積極的に民間人の登用等によって、総合学習の枠を使って授業をして欲しい。	女性	30～39歳
		小学校、中学校の教職員の質を高めて欲しい。子どもの学ぶ意欲をかきたてる教員の配置、また、スポーツで活躍できる子を育てる指導者も必要。音更で暮らしているからこそ、子どもがのびのびと健やかに育つというまちづくりを願う。	女性	18～29歳
		「ツイの住みか」として音更に居住する人達が多い。その人達の現職時代の技術、知識、経験等を鑑み（仮称）「人材確保バンク」（勿論本人の納得了解の上で）の設置はいかがか。	男性	70歳以上
		体育の時間、補助的先生を町から派遣する。	女性	50～59歳
公園		鈴蘭公園を公園らしくして欲しい。遊んでいても虫にさされる、公園北側はヤブの様で汚い、公園から木野市街の展望ができない、子どもたちが楽しめる施設が少ない、柏の枯れ枝をかたづけないと子どもたちが走って遊べない。	女性	60～69歳
		不審者・空き巣を減らして欲しい。公園の維持管理の予算を増やして、緑あふれるすてきな公園のある街にして欲しい。割れ窓理論のように、すてきな街により良くなれば、不審者、空き巣も減るのではないかと思う。そして音更町もより豊かになるのではないかと思う。	男性	30～39歳
		子供達の遊ぶ公園に設備がない。札内公園、緑が丘公園、芽室公園等に行くことが多い。子育て支援するのであれば、公園で遊ぶ設備が必要ではないか。公園設備を進めて欲しい。	男性	不明
		公園の遊具整備や砂の入れ替えをして欲しい。定期的に見回りをしているようだが、遊具はいつまでたっても「キーキー」すごい音がしている。	女性	30～39歳
		１歳～２歳くらいの子どもが遊べる公園がない。	女性	18～29歳
		子どもが小さいので、公園によく行くが、時計がない所がほとんど。小学生も家に帰る時間が決まっているのでしょうが、時計がなく、遅れたりする。公園に時計をつけて欲しい。	女性	30～39歳
景観		木野大通の景観。（再開発）	男性	40～49歳
		木野大通（国道２４１）～木野大通８丁目の古民家の撤去。（火災時に延焼が懸念される）築４０～５０年前の空家を解体するよう指導して欲しい。乗用車（かなり古い）にゴミを満載にしている（６台　中鈴蘭南６丁目）。	男性	60～69歳
		十勝川温泉の空ホテル周辺、景観が悪く見えるので考えて欲しい。	男性	60～69歳
		空き地の草刈り、雑木等の始末を早くやって欲しい。	女性	70歳以上
		桜の木の老木が枯れその後始末が大変なので、花の咲く前に処理して欲しい。	女性	60～69歳
		枯れて死んだ桜の木が気になる。町では気がつかないのか。堤防の遊歩道の草がかなり長く大きくなってきた。草刈りは年に何度位行うのか。最近、遊歩道を歩く方、走る方が、とても多く見える。あまり草が伸び放題では、あまり気持ちが良くなく、危険だと思う。町民の方が気持ち良く歩いたり、走ったりできるよう、草刈りをして欲しい。	女性	60～69歳
生活環境		生活環境について、道路整備、雨水溝、消火設備に財源付与等の抜本的な措置を願う。	男性	70歳以上
		冬でも散歩のできる場所が欲しい。冬道はすべって転ぶと大変。	女性	60～69歳
		木野東小学校の近くにいるが、千隆には、小学生も少なく、遊ぶ場所が少ない。あまり環境は気にしないが、東通２丁目の交差点では、朝大変車が混み合う。住宅地に入り、抜けていく車が見られる。通学路とぶつかり危ないような気がする。	男性	50～59歳
		あまり出歩かないので、自分の住んでいる周りが良いのでわからないが、道路の舗装が悪いので気になるし、周りの家があまりにも汚いので気になる。	女性	60～69歳
		夏の犬の鳴き声を何とかして欲しい。	女性	60～69歳
住宅	公営住宅	勤務先の社宅に入居の身で、老後における居住条件が厳しいと思うが、町営住宅入居確率が悪い。運の良い人は1回で入居している。町民向けの公住を増やして欲しい。	男性	70歳以上
		町営住宅、新しいの建てて欲しい。（ペット可）	女性	18～29歳
	宅地開発	人口減少対策。（新住宅地開発）	男性	40～49歳
		現在北陽台の公住に住んでいるが、家の前の道路に車を駐車している人が多い。住宅課に言っても何もしてくれない。老人が多い中、救急車などを呼んだとしても入ってこれない。また、重い荷物を運びたい時も入ってこれない。家の前に駐車している人にはしつこく注意して欲しい。ルールを守っている人が損をしている。家の前に停めていると環境が悪い。職員の皆さんにもっと外に出て働いて欲しい。（見回りなど）ルールを守らない人は退去してもらうなど、もっと厳しく対処して欲しい。	男性	50～59歳

住宅		家賃高い。	女性	18～29歳
水道		北宝来1区に早く下水の整備をして欲しい。	女性	60～69歳
		水道料金が高いので、安くなると嬉しい。	女性	30～39歳
		水道水が少し気になるが、水質は良い方なのか。	女性	30～39歳
		水をもう少し質の良い物にして欲しい。石灰質が多すぎて、水周りの掃除が他の町村と比べて大変。	女性	50～59歳
		農村地域の上下水道の整備を強く進めて欲しい。	女性	60～69歳
		音更は水道代が高すぎる。生活するための出費が多くなりがち。	女性	30～39歳
除雪		町内の除排雪。	男性	70歳以上
		冬季、住宅街の除雪、道路左右、不公平感あり。雑除雪、住宅街、個人宅家主も除雪する人、しない人もいるので、町のパトロールで指導して欲しい。	男性	60～69歳
		冬の除雪をなんとかして欲しい。	女性	18～29歳
		冬の除雪の仕方で、除雪の幅が狭い。（1回真ん中を通っただけ）昨年は2回通っていた。2回通って欲しい。家の前の歩道、凍結により、波打っていて、ひび割れしている所があり歩きにくい。歩道修理が必要と思う。	男性	70歳以上
除雪		冬の除雪について、毎年のことですが、自宅前の道路は南北ですが、いつも東側の方だけに除雪の雪が多く、西側の方が少ない。交互にできないのか。向かいの人は楽そうに除雪をして、こちらは雪が多く大変。	男性	70歳以上
		除雪の仕方等の見直しについて。当地に居住して3年になるが、当町の除雪は道路の中心部のみであり、隣地からの寄せられた雪が玄関脇に集まるような状況にある。年々高齢化が進む中にあって、雪を中心部のみの除雪でない仕方に見直しするよう検討をお願いする。毎年2回程は排雪は必要であり強く要望する。	男性	70歳以上
		除雪の丁寧さ。	女性	18～29歳
		道路や歩道の除雪が遅れるのと、何センチくらい積もると、除雪車が入るのか。除雪の予算がなくなるので、回数を減らすのか。私たちの所は小学校が近いので、雪の日は親が来るまで送り迎えをする通り道になってしまっているので、積雪がますと、車の行き来が大変。	女性	60～69歳
		冬の除雪に不満を感じる。道路の真ん中だけ、あけていく感じだが、あと両サイド50cmづつだけでも広く除雪されると良いと思う。子どもの多いこの地域、冬は、車道を歩いての登下校となる。	女性	40～49歳
道路	街灯	夜暗いから街灯つけて欲しい。	女性	18～29歳
		音更高校までの道路が夜暗すぎる。高校生など通学しているので、もう少し明るくした方がいいと思うし、安全性にも暗いと危険。	女性	50～59歳
	国道	木野大通の二車線化。	男性	18～29歳
		木野大通りの道路が2車線になると、走りやすく、帯広からの買い物客が増えると思う。今の道路は、慣れないと運転が怖い。	女性	30～39歳
		十勝大橋の道路の混雑をなんとかして欲しい。	女性	18～29歳
		帯広と音更を結ぶ国道241号線の道路補修により、今までより交通に関して不満がでている。1車線にするのではなく、片側2車線にし、より音更へ各市から交通に不便にならないようにすべきでは。	女性	40～49歳
		国道、橋の渋滞の改善。	男性	30～39歳
		木野大通の渋滞解消を考えて欲しい。十勝大橋周辺の整備をして欲しい。	男性	50～59歳
		交通渋滞を何とかしてもらいたい。大橋の手前は冬になったらもっと混み合い事故も増える可能性が高いと思う。早急に何とかしてもらいたい。	女性	30～39歳
		木野大通の渋滞。	男性	30～39歳
		キャベツ亭の前に信号が必要では。今でも大通に南向いて出ることができない。これからホーマック完成したら大変。昼から夕方に「クロネコ」「キャベツ亭」「ねこふんじゃった」「ハッピーハウス等の住宅への訪問」すると帯広方面へ出ることができない。	男性	30～39歳
		木野大通を拡幅して欲しい。	男性	30～39歳
		4線道路の歩道を造って欲しい（児童生徒の通学が多い）車が最近どんどん増加しているので危険度が高くなっている。	女性	60～69歳
		人口の多さに道路がついていっていない為、車が渋滞する。国道から西側の道路が南北に必要だと思う。	男性	50～59歳
		十勝大橋から音更町内木野大通から国道の道、車線変更により大変不満。（時間がかかる）車の事故防止なのかわからないが、あらたな商業施設ができるみたいで、もっと混雑になり、事故が多くなる。	男性	50～59歳
		十勝大橋の音更側の右折と直線が危なすぎる。事故起きてもしょうがない。	女性	18～29歳
		241号線を片側2車線にすべきである。	男性	30～39歳
		国道にゼブラゾーンを付けたのはなぜか。交通量が増えたが、横断歩道、除雪等の対応が不十分。新聞等で取り上げられている意見は一部の声。近隣住民の声が全く届いていない。	女性	50～59歳
		国道241号道路を拡幅して渋滞を解消して欲しい。	男性	60～69歳
		十勝大橋からの一車線化による、交通混雑の改善に力を入れて欲しい。非常に困っている。混雑でどんどん買い物の足も遠のいているようです。	女性	30～39歳
	歩道	身障者1級で外出は車いすで行っている。やはり歩道を使うと安心なので、歩道を使いたいが、目的地に行くのにかなり歩道を選ばなくてはならない。できれば狭い歩道、ななめの歩道が少なくなってくれると助かる。	男性	60～69歳

道路	歩道	歩道の整備をしっかり行う。	#N/A	70歳以上
		道路の整備ができていない。外側線が消えていて、子どもが歩道を走らなければならなく、いつ事故が起きてもと心配している。駐車も毎日毎夜歩道に車を停めて平気でいる。子どもも歩道を歩けなく、車道を歩いて通学している様子を見て、とても残念に思う。	女性	60～69歳
		緑陽台の道路があちらこちらで壊れていてひどい。計画的に直して欲しい。車いすで移動するのが大変。	男性	60～69歳
		街路樹はちゃんと管理されていればきれいでいいが、車を運転する際に視界が悪くなりとても危険だと思う。特に温泉地区。	男性	40～49歳
		共栄中学校周辺の整備　、木野大通東18丁目周辺及び木野大通西18丁目周辺、木野西通18丁目周辺の整備、柳町北区周辺の整備に対する町の役割をもう少し充実して欲しい。	男性	30～39歳
		南鈴蘭南2丁目の住民だが、道路の整備を良くして欲しい。排水に雨水等が流れない作りが有る。	女性	60～69歳
		街路樹のことだが、山もみじの木は大きくなり紅葉もせずその葉が秋時雨で落ちた時の掃除の大変さがある。なんとか小降りに剪定していただくことはできないか。	女性	60～69歳
道路		町政声のポストにも以前書いたが、鈴蘭公園の西側の道路の拡張工事には不満があった。何十年も前からある樹木を切り倒し、公園が狭くなり、道路が広くなった。音更町だけの問題ではないとは思うが、道路幅が広くなっても交通量が増え、交通事故の危険が増えたように感じる。	女性	40～49歳
		住宅地は道幅も狭く、車がすれ違うことのできない場所もあり、広大な音更にふさわしくないと思うことがある。ゴミ収集車や、営業車などが停車していると、道を変えるか待っていなければならないし、雪が降るとその地区の方も大変な思いをしているように思う。音更は除雪がとてもきれいにされているが、住宅地など特に狭い道路の排雪はまめにしてもらいたい。	女性	40～49歳
		環境整備について、老朽化した施設などを建て替えるのも大事だが、必要以上に経費をかけることはないと思う。施設ばかりではなく、実際私たちが生活している身近なことで、道路だとか雨水桝、縁石などが破損して不便な所が多くある。そういう所を直してこそ住みよい「まちづくり」の一環になるのではないか。	女性	50～59歳
		道路が狭い。	女性	18～29歳
		道路の舗装。	女性	18～29歳
		冬の道路と歩道の凍る段差を何とかして欲しい。	女性	60～69歳
		開進地区、道路がとても悪い。特に9線大和地区がひどい。早く良い道路にして欲しい。	男性	70歳以上
		音更郵便局の出入り口の車の出入が国道に面していて、昨年国道が一車線になり、混み具合が激しい。士幌線を9線から音更郵便局西まで道路を取り付けて、裏からも自由に出入りできれば、利用が便利になり、安全面でも非常に良いのでは。	男性	70歳以上
河川		川のそばで、今、堤防の工事をしているが、近年、毎年のように大雨で、家のそばまで水があがり、去年は床下まで水が入り、もう少しで床上になる所だった。役場の人がポンプで排水してくれるが、どうにかならないか。自然災害が多く、今年は大丈夫かとても心配。堤防の工事をするなら、一緒に水路もしてくれたら良い。別な所に移りたい。	女性	50～59歳
		十勝新橋に数年前から流された木がそのままになっている。増水で漂流物が貯まって、洪水になるのではといつも心配な気分になり見ている。対処して欲しい。	女性	50～59歳
土地		廃校の跡地の整理をして町民に安い（高齢者）土地の提供を望む。	男性	70歳以上
		道路幅の狭い住宅地は、新築及び改善は不許可にし、同等で近隣の土地を斡旋。	男性	60～69歳
公共交通	コミバス	コミュニティバスの本数が少なくて不便。特に冬季は増便して欲しい。	男性	18～29歳
		コミュニティバスが走っているが人が乗っていない。空気を運んでいると思われるので改善すべき。	男性	60～69歳
		北陽台に住んでいて、周囲は年配の方が多いのに坂もあり、買い物も大変なのではと感じている。コミュニティバスのサービスは便利。	女性	30～39歳
		十勝川温泉ホテル行きのコミュニティバスを走らせて欲しい。先ずは地元の人が盛り上げなければ広まらない。銭湯感覚で入れる施設を造り、宿泊代も安くしておみやげ品に力を入れて欲しい。	女性	60～69歳
		コミュニティバス本数を増やして欲しい。待ち時間が長く、買い物には利用できない。	女性	70歳以上
		冬の除雪状態がとても悪く、毎日の通勤で危険を感じている。バイパスを過ぎてから門前駒場の路面が不便。一日一往復でもあれば、病院とかの足になる。コミバスの運行を考慮して欲しい。	女性	18～29歳
		公共交通機関への補助。（バス料金が高い）	男性	30～39歳
		バス使用の生活なので、もう少しなんとかして欲しい。	女性	60～69歳
		大型スーパーが増えて、住居の近くの店が少なくなり、これから年を取り、車の運転ができなくなった時の買い物がしにくくなるので、心配している。	女性	50～59歳
		親が働いていると、子どもの習い事や活動などなかなか付き合えず、バス等の便がもっとよくなって子どもが行動しやすくなれば良いと思います。	女性	40～49歳
		バスの本数が少ないので、病院に通うのに不便で困っている。もう少し本数があると良い。	女性	70歳以上
		バスの利便を図る。	女性	60～69歳

商業		若者の意見としては、もう少し遊べる店が増えてもいいんじゃないかと思う。食事やパチンコ屋がある一方、ゲームセンターやボーリング（Round1）若者が遊べる所や本屋、電機屋なども結局帯広に行って利用しているのが現状。せっかく活気がでてきた音更町にもっと「楽しめる」「音更で済ませられる」町にして欲しい。	男性	18～29歳
		娯楽施設の充実。	男性	18～29歳
		高台に商店街を作って欲しい。	男性	18～29歳
		スーパーなどは増えて便利になってきたとは思うが、服屋、雑貨屋、娯楽施設などないので、増えるといいと思う。もっと音更で遊べる場所が増えると楽しいと思う。	女性	40～49歳
		大型点が増え、中央商店街が伸び悩んでいる。広く町民に問いかけて、最良の商店再生を期待する。それには、利用者の意見に耳をかたむける各商店の姿勢が不可欠。利用する側とされる側の考えを出し合い、大型店に負けない、商店街を取り戻して欲しい。（他市町村の商店街づくりについて、視察研修した経緯があるが、その結果が活かされないまま、今の商店街がある、原点にもどって、考え直す必要がある）	男性	70歳以上
		衣料品店の誘致をして増やして欲しい。	男性	30～39歳
		帯広市のように、北の屋台のようなものがあったら良い。	男性	40～49歳
市街地	本町	本町の活性化。	女性	18～29歳
		音更町は広大であるため、元町と木野に二分化されている印象がとても強く、町としてどうしたいのか、木野に集中しつつある、商業、公共施設、しかし役場は元町。どっちつかずであると思う。元町地区の空き店舗も、イベント等も長続きせず、活性化の意志が見えない。	女性	40～49歳
市街地	本町	本町の町並みあまりにも寂しいので、何とか活性化を。7丁目の夕日は良い試みと思うが、自分から足を運ぶ気にはなれない。	女性	70歳以上
		本町地区の商店街活性化。	女性	50～59歳
		市街地割りについては、今後の街のあり方として、公共施設は拡散ではなく、むしろ集積する方向が大切。近時、空き地、空き家が増加しており、かつての拡散拡大化する街の構造には反対。集積することによる、利便性の向上を図り、活力を感ずる街の創造が本来と思う。人口の増減傾向は当然たら減少傾向にあり、町の形状造りはむしろコンパクトで近場に生活機能のある（公共施設）方がインフラ整備も軽便であり、財政負担も少なくて済む。交付税の利活用のため、総体の人件費をおさえて、インフラの維持に向けられたい。	男性	70歳以上
		音更町の中心地とはどこなのか。本町なのかどうかわからない。	女性	50～59歳
		木野以外での市街地の発展。	男性	30～39歳
		中心街（木野大通）の整備、魅力づくり、美しい町並。道の駅の立地、店舗のあり方、商品、音更の物産品の展示が購買意欲が湧かない。町民が積極的に集い、楽しめる場所に。ハード面はまだまだ考えて行く余地大いにある。	女性	70歳以上
		木野周辺はとても便利。本町、新通地域の活性化。	女性	30～39歳
		ひびき野にスーパーを作って欲しい。	女性	30～39歳
農業		農業支援（集約機構）。	男性	40～49歳
		音更はいいところなので、これからもみんながより住みやすい、安全で健やかな町であって欲しいと思う。音更で農業を営んでいるが、個人ではなく、将来を見透すと、やはり農薬等に頼らない、循環型（有機）農業が一番環境にも人にも良いと思う。個人でやるには限界もあるので、町全体でバックアップしていくべきだと思う。健康は食から！！	女性	18～29歳
		農業、酪農を守る。	女性	18～29歳
TPP		TPP阻止の行動を全町あげて取り組んで欲しい。	男性	60～69歳
		町としてTPP反対の活動が見えていない。	男性	60～69歳
農村部		農村地域には、若者が少なく、高齢者ばかりで、婦人部に入りたくない。	男性	40～49歳
		高齢者自立、自宅介護、と呼ばれているが、病院、医師が車で一時間もかかる所まで本当に見に来てくれるのか。町（市街地）だけの町造りへの懸念が町（市街地）から離れた土地に住む者にとってはぬぐいきれない。	女性	60～69歳
		農村地域の人口をいかに確保するか、農業者以外の人にいかに定住してもらうかを考えて欲しい。また、農村部の小学校、保育所などの行政サービスを確保するすべを住民と一体となって進めて欲しい。	男性	30～39歳
観光	ゆるキャラ	人気がでるようなゆるキャラでアピールできたら応援したい。本当においしいものを豆など地元の食材で開発して欲しい。	女性	50～59歳
		豚丼マン、くまもんの様なマスコットまたはマスコット隊を作って町をアピールする。大振袖にちなみ、衣装を作ったり、AKB48のようなグループを結成し、仮面や帽子をかぶり、顔がわからないようにして、町をピーアールするイベントごとに参加してもらう。温泉街に温泉以外にイベントを企画して温泉へ来てもらう。農業体験、農家もどきのホームステイ、乗馬、川下り、ざりがにとりなど。	女性	50～59歳
		音更には、ゆるキャラみたいなのはいるのか。イベント等にゆるキャラがいた方が音更町のPRにもなるし良いと思う。もしすでに音更のゆるキャラが存在するなら、PR不足。あと、観光大使も必要。観光大使を雇って、町の良い所、食べ物、なんでもいいのでブログで紹介。ブログをやるなら、マイトカチのブログがおすすめ。他にも、ツイッターやフェイスブックもやるべきだと思う。音更町のHPに、観光協会、物産協会のHPがあるが、やはり「マイトカチ」でブログやらないと、HPあること知らない人多いと思う。	女性	30～39歳

観光		音更町の良さをいかした観光やイベントに力を入れて、旅行客を増やす工夫力が必要。	女性	40～49歳
		十勝川温泉の湯を用意してドライブ客の足湯をPRしたり、愛犬家は犬と一緒にドライブしているので、ドックランを開設すると集客力はUPすると思う。	女性	40～49歳
		せっかくモール温泉というすばらしい温泉がわき出ているのに、十勝川温泉街がさびれていて残念。もっと地方の人達を引きつける場所があれば、たくさんの方々が十勝川温泉へ来てくれると思う。動物とふれ合える場所、地産地消を売りにした十勝の新鮮な物を格安で食べられるバイキング式レストラン、足湯の施設の充実、子どもが楽しめる体験型アドベンチャー、十勝の広さとうつくしさをたくさん使って、地方の人が来てくれて"また来たい"と思うような「場所」があればもっと良いと思う。	女性	30～39歳
		中札内のアイスクリームは何度も足を運びたくなり、遠方からの客人も連れていきたくなるおいしさがある。音更も味に自信がもてる地元の商品をたくさん作る。	女性	50～59歳
		産直の店を芽室に負けないようなものをつくって欲しい。	男性	60～69歳
		観光スポットにもっと力を入れて欲しい。	男性	40～49歳
		十勝の宝的温泉を大切に考えて、たくさんの人が訪れる町にして欲しい。	女性	70歳以上
		音更の四季折々の畑の景色など、道外出身者から見ると、本当に異国のようで美しい。畑作業の邪魔にという心配もあるかもしれないが、道内他の場所のように(フルーツロード、フラワーロード)きれいなスポットや、道に名をつけてアピールしたらと思う。秋のひまわりの場所、HPではわかりにくかった。	女性	40～49歳
		観光地の目玉商品が少ない。	女性	60～69歳
		十勝川温泉サビれている。もっと来客が来られるような、温泉街を考えてみてほしい。	男性	60～69歳
		観光スポットがない。十勝川温泉に何か人が集まる場所が欲しい。	女性	40～49歳
		観光資源が活かされていない。もっとスケールの大きい視点で物事を企画するべき。(全国から世界から人が来るような)	男性	40～49歳
観光		道外、国外の人から音更町の魅力を積極的に聞き入れ企画の際はリーダーとしてプロデュースしてもらう。→地元有力者は口を出さずに素直に協力することが新たな魅力構築への近道。	男性	40～49歳
		十勝川温泉に象徴される様に、滞在型観光施設等にかげりがある。通過地域ではなく、ゆっくりと地方から呼び込める滞在できる町おこし策を。	男性	60～69歳
		スイーツ王国十勝、豚丼、もっと管外、観光客誘致アピール、町民からも愛されるよう、スタンプラリーなど、身近に感じてもらう。	女性	18～29歳
イベント		柳月スイトピアガーデンでおとふけマルシェを開催しているが、安価の宅配便で野菜を送ることもしていないので、購入品はほんのわずか。	女性	40～49歳
		昔は、神社で「桜まつり」というのがあり、役場の池でつりをしたこともあった。皆楽しみにしていたイベントであったが、現在は昔ほどの盛り上がりがない。またつりを復活させて欲しい。	男性	30～39歳
		もっと気軽に参加できる、横のつながりがとれやすい企画ができるような助成などがあるといいと思う。町内会単位ではいろいろやっているようだが、なかなか日程が合わず参加できずとなり、近所とのおつきあいも少ない。一般企業にも協力(ヤクルトやCOOP)老人の見守りに町としてもお願いしたらいいと思う。	男性	40～49歳
		町民の年代に合った、生活の中での楽しみ(サークル・イベント)を参加しやすい費用で提供して欲しい。生涯学習での活動内容に制限が多い。特に時間に関しては、役場主導なので、時間、費用、が少なく活動にマンネリになって行き詰まりを感じている。	女性	60～69歳
		食育や健康、環境のことなど、もっと町民と行政で一緒に取り組めるようなイベント等を強化(増やす)して欲しい。音更は住みやすいし、いい町だと思うが、他町(市)と比べると、観光スポットが少し弱いかと思う。(温泉を除き)道の駅は特に、少し魅力にかけていると思う。鹿追町が近く、鹿追の道の駅に寄ったりするし、中札内や芽室(愛菜屋)は、わざわざ行く価値がある。比較すると、音更の道の駅は、元気がないと思う。もっと地産地消で野菜や手作りのものをおいたり、マルシェのようなものを開いたり、情報発信等もして欲しいと思う。	女性	18～29歳
		他市町村と比較すると花火大会や町おこしの銘産物のイメージはあまり湧かないのと、イベントも少ない様に思う。若い方々の自主的な発想をお祭りやボランティアに活かしてより住みたい町になればと思う。	女性	30～39歳
		帯広の花火大会の時の車の駐車場に音更町側の河川敷も利用すると良いと思う。(昨年は全く入れず)少々の料金をもらい、それで人件費、仮設トイレなどを。全国三位の花火大会と言うので地方の遠い所から見に来てくださる車が駐車場に四苦八苦しているので。帯広の方では、近くの駐車スペースのある土地の持ち主は1回2000円という話もある。十勝の夏を楽しんでもらう唯一の花火大会なので何とか考えて欲しい。	女性	60～69歳
		場を提供、貸すだけでなく、町主体のフリーマーケットがあれば良い思う。ちょっとした団体だと、初めての人や個人では、参加しづらく使えるものがあっても、ゴミに出すことになってしまうので、町民誰でもが参加しやすい様に町で行う場があっても良いと思う。(特別、日を作るのではなく、何かのイベントやお祭りの中の1つとして)	女性	40～49歳
温泉		十勝川温泉を所在する当町において、町民への還元する方法があっても。	男性	70歳以上
		十勝川温泉を活気ある場所に。	女性	60～69歳
		十勝川温泉の湯巡りパスポート等があったら良い。	女性	40～49歳
		十勝川温泉の魅力、活性化の発進。	女性	18～29歳

温泉		十勝川温泉の活用法を工夫して欲しい。観光客だけを相手にするのではなく、地元の人をもてなす気持ちが欲しい。例えば、平日無料バスを走らせて、地元の人に温泉に来てもらうとか、富良野の「ニングル」のように、小さなお店をまわって楽しめるような感じにするとか、普段そこに住んでいる人達が利用したいと思うものがなければ、先細りになってゆくと思う。箱物があっても、そこで働いている人達のおもてなしの気持ちがなければ、いくらいろんなアイディアがあっても、リピーターが増えないと思う。1人で外出するのが難しくなってきてる高齢者や障がい者、子育て世代の人達のために、町内観光スポットをめぐるバスの運行も定期的にあるといい。	女性	70歳以上
		若い人が音更町を盛り上げていかないと、皆町外へ出て行ってしまう。音更には、十勝川温泉という武器があるのに、PRが全く足りない。幕別町のように、町民割りがあったら、もっと温泉入りに行く。	女性	30～39歳
特産品	B級グルメ	音更町のB級グルメがあったら良い。	女性	40～49歳
		音更町のB級グルメがあると良いのでは。せっかくよつ葉やインデアンなどあるのだから、コラボ商品とか。消費の中心は女性なのだから、もっと女性の意見を取り入れるべきだと思う。	女性	30～39歳
		音更の名産品を開発して全国的にヒットさせて欲しい。	女性	60～69歳
		音更町の特産品をもっと紹介をする場所や、農家さんが作った野菜などを販売をする直売所を増やす。	女性	18～29歳
道の駅		道の駅の充実を考えて欲しい。	男性	60～69歳
		現在ある「道の駅」の場所、面積拡大を検討　・加工食品の贈答品としてのアピールを高めて欲しい。	男性	60～69歳
		道の駅付近を広げたら良いと思う。駐車場がせまい。	男性	60～69歳
		道の駅の駐車場を広げて欲しい。町の顔としてもの足りない。	女性	50～59歳
		音更の道の駅、もう少し活気のある場所にしたいと思う。もっと農産物の販売など農家の方に協力していただいたらどうか。（目指せ中札内道の駅、芽室の愛菜屋）知名度低すぎだと思う。	女性	60～69歳
		道の駅の拡大と音更町の道の駅での地産地消でのレストラン、ソフトクリーム、など規模的に他にはない位の大きさエコな道の駅を希望する。	女性	50～59歳
道の駅		道の駅が寂しい。深川の道の駅は、高速インターチェンジと言う立地条件が良いためはやっていると思われるが、音更の道の駅としては寂しすぎる。	男性	60～69歳
		道の駅の充実。（中札内、本別などと比べてぱっとしない）	男性	60～69歳
		道の駅での行事大切。十勝の商品は物産として全国に発信はもとより、地元十勝の物産を今以上にアピールするべき。それには、大きな会社と小さな会社を育てる。汗水流して頑張っている所もいっぱい有る。高齢者でも好きなことであれば、生き生きする。手作り品など、編み物、和の着物など、タンスの肥やし、洋服にし、エコにつながる誰でも参加できるような道の駅でのイベントで盛り上げて欲しい。	女性	70歳以上
		国道沿いに店々が連立していて便利になったようではあるが、細長くまとまりがないので、町中を散歩して楽しいという雰囲気は味わえない。音更道の駅をむつみ公園の手前空き地に充実させてはどうか。	女性	60～69歳
		道の駅がしょぼすぎる。→本町中心地に道の駅を移転し、新たな複合施設として、博物館、飲食店、土産店等を置き、中心街の活性化を図る。	男性	40～49歳
		道の駅がさみしい。	女性	40～49歳
雇用		高齢者の雇用を促進して欲しい。働ける人は働いて、若い世代と相互に協力し合うようにして欲しい。	女性	30～39歳
		温泉熱を使ったイチゴの栽培→雇用→ケーキに使用など。	女性	40～49歳
		若年層の働く場所の確保。	男性	30～39歳
		木野地区に居住しているが、職場はほとんどの人が帯広に勤めている。働く所が少なければ音更町も将来人のいなくなる町となっていく。せっかくの工業団地もどんな風にアプローチしているのか一般人にはわからない。働く所も農業関係だけでは生活ができない所得。未来の子供達のために、ビジョンを具体的に見せて欲しい。	男性	50～59歳
		将来子どもが「音更町に住みたい」と思えるような町づくり（就業場であったり、住環境、交通の便など）に力を入れて欲しい。第1はやはり働く場の確保。働く場がなければ生活できない。	女性	30～39歳
		男女共に働けて、週休2日くらい、1日の労働時間は6～7時間くらいなら、お給料も安くていい。子育てしやすいし、健康的な生活ができると思う。	女性	60～69歳
コミュニティ	町内会	町内会は、行政区の活動が少ない。参加者も減少している。行政区の役割を積極的にすることが大切。	男性	不明
		町内会の活動が、昔（10～20年前）に比べ楽しくない。	男性	50～59歳
		他の市町村に比べ、若い人や子どもが多いように感じるので、お年寄りと交流したり活気のある街になればよいと思う。	女性	40～49歳
		勉強会などを行ってコミュニケーションを取る。	女性	18～29歳
		老人社会になり、子供達とふれ合いの場を多くなることを望む。小学生と遠足とか、ミニバスの旅など。教育の関係で大変なことも有ると思うが。	女性	70歳以上
		各地にあるサロン風の物は集いやすく良い。エプロンがけで参加できるとなお良い。	女性	70歳以上
		観光スポットがちょこちょこあるが、男女問わずまた老若問わず、集まれる場所があると良い。	女性	40～49歳

行政サービス		学校、保育園、発達障がいにともなう支援センターに関わる部署は、特に現場をより理解する努力をして欲しい。よく国側の政策決定が出てからとか言うが、音更町として、町民の求めることに直接独自のプランを考えてもいいのではないか。	女性	30～39歳
		木野支所の職員数について、暇な時期は少なくする等考えてはいかがか。	女性	50～59歳
		音更町では、住民、国保、教育委員、児童相談等の連絡確認はどのようにされているのか点検、実行をお願いし、音更役場内の気軽な質疑体制の確立を願う。	男性	70歳以上
		いつも思うが、税金など（町税など）は、役場から積極的にすすんで通知が来るが、調べなくては受けられない手当や、給付金に関しては、お知らせも少なく、音更町側は消極的に思う。入るお金は欲しいが、出すお金は抑えたいみたいな町では住みにくい。	女性	30～39歳
		役場の営業時間だが、火曜のみ7時まで業務しているが、土曜もしくは日曜に一度でも休日に業務していただけると、働く人間にとっては非常にありがたく思うので、検討して欲しい。	女性	40～49歳
		図書館はやはり帯広を利用するが、音更図書館は蔵書が少なすぎる。職員の方も一応サービス業なので、もっと明るくした方がいいと思う。	女性	18～29歳
		役場の雰囲気をもっとやわらかく、楽しめるような環境であって欲しい。	女性	60～69歳
		役場に電話をしても上まで意見が届かない。国保のことで電話をした時の担当者の対応は、公務員らしい口調で私にタメロ。若い方ではなかったっだけに残念。上の人が礼儀正していなければ若い人はそれでいいと思ってしまう。	女性	50～59歳
		新提案やアイディアなどの助成金やサポートする部署を作って欲しい。	男性	40～49歳
行政運営	企業誘致	企業誘致を積極的に。（法人税減免）	男性	40～49歳
		東京などで音更町といっても知名度が低いためわからない人がほとんど。北海道十勝の市町村らしく、農作物など特徴のある町を目指して欲しい。例えば「ブロッコリー」№1など。十勝川温泉ではダメ。日本に自慢できる町づくり。音更町に今一番大切なことは高校卒でも十分に働ける就職先→「農作物を使った食品製造業」（特に一流メーカーの工場）の誘致を特に希望する。	男性	40～49歳
	財政	もっと役場の職員を減少して、財政を楽する方法を考えてみては。	男性	60～69歳
		かつて首長は「福祉の充実している音更町」ということを自慢げに協調していたが、そのこともあってか、他地域より福祉に期待する人達が移住多いと聞かされてきたが、それらのことに応えられる財政的余裕はあるのか。	男性	70歳以上
行政運営	財政	財政の健全化を。これからは、少子高齢化、人口減は必須。	男性	60～69歳
		将来設計をして必要なものへ投資、何でも要望に金を使ってはダメ。	男性	60～69歳
		皆の血税。責任のある行動、発言を。職員の意識改革が急務なのではないか。予算の使い切りを目指すのではなく、自分のお金と考えて使い道を考えて欲しい。	女性	50～59歳
		毎年同じごみ収集の手引き（出し方）カレンダーが届いているが、無駄だと思う。紙も良すぎる。	女性	50～59歳
		現在のまちづくり、町政運営で良いと思う。	男性	60～69歳
		音更町独自のまちづくりを進めたいのであれば、帯広をおいてけぼりにする政策が必要。例えば、看板の規制、条例によって規制を厳しくし、ヨーロッパのサインシステムや規制を導入すべき。また、むやみやたらに居住地区を増やさない。今のままでは、昼夜共に人口密度が高まることはないので、どこか局所的にでも人口密度を高めていかなければ、町の中で賑わいのある場所はつくれない。町の土地利用を根本的に見直す必要があり、mixed useの場所を作り直すことがいいのではないか。いずれにせよ、全国に先駆けるモデルケースとしての条例づくり、町づくりをする覚悟が必要。	男性	18～29歳
		今、音更本町は、お金をかけ新しくしたが、人・車の通りもなく、残念。もっと先を見て計画を立てるべき。	男性	60～69歳
		健康で暮らせる日々努力していますが、年老いて買い物等に出られなくなった場合のことを考えて、ホームページとかインターネットの使い方に苦手な今、少々早くからメカに強くなっていたかったかなと反省している。どうかこの町が住みやすい安心して暮らせる町として発展して欲しいと願っている。住民に優しい町政であって欲しいと願っている。	女性	60～69歳
		退職後は、我が町に目を向けたいと思う。住みやすい行政の推進を願う。	男性	60～69歳
		子ども、老人を対象とした施策の充実（選挙対策？）よりも、現役で働いている人のためになり、この町に住み続けたいと思える町づくりに期待する。お金をかけなくても、できることはたくさんあるはず。	女性	30～39歳
		音更町の人口ももうすぐ5万人に近いが、町民の持ち家住宅は、本町、木野とも境目なく建っているが、どうも音更本町と木野との間が（役所）等がうまくマッチしていないと思う。役場や、役所管理の箱物がスムーズでない。	男性	60～69歳
		環境も良く、住み良い町ではあるが、他の町村と比べて特にメリットがある訳でもない気がする。音更に住んでいて、何か得のある町づくりに期待する。	男性	50～59歳
		音更町全体としては、活発で町民を大切にしている印象があり、住んでみても相違ない感想。	女性	30～39歳
		年々町に大型の店や病院ができ、30年前とくらべてずいぶん便利になったと思う。人口も4万人を超え、色々な人達がいると思うが、子ども、老人などで色々な悩みを持った人達が住みやすい町になって欲しい。弱き人達の気軽に相談できるような取組をしていってもらいたい。音更町に住みたいと思われるような、皆が人に気配りできる町になってくれればうれしい。	男性	30～39歳

行政運営		全国的に問題となっている、少子高齢化の問題を今の時点から、10年20年先を見越した取組を進めるべきと思う。（音更町は緊急な問題ではないと思うが、10年20年はすぐ来る）	男性	60～69歳
		町民が参加できるよう、町民全員に情報が伝達されるようにすることを考えてほしい。どのような対応すればいいのか考えてもらいたい。発信すれば反応があるはず。日々の中で意見を取り入れられる環境をつくってもらいたい。	女性	30～39歳
		国や道に頼らない町づくりを考えて行くべき。シンガポール、スイス、デンマークに学ぶところ大。	女性	40～49歳
		音更町はすごく良い町。人口も増え、住みたいと思うところだと思う。町長さんがすばらしく、今後も長く働いていただきたいと思う。これからもすてきな町でいられるよう頑張って欲しい。	女性	30～39歳
		道路の補修や上下水道の整備等の町民からの要望などをよく聞き入れる体制のある行政及びまちづくりを。	男性	40～49歳
		「町並み（町全体）をバランスよくするために」インフラ等の整備に配慮することが重要。	男性	60～69歳
		町づくりには「町民の声を聴く」ことは最も大切なことですが、「町民＝個人」の苦情解決とは違うことを理解して対応して欲しい。	男性	60～69歳
		新しいものも必要ですが、古いものを守る町も残したい。（ほっとできる豊かな町には、いつも変わらないが必要）	女性	60～69歳
		町民が自分の町を自慢できる意識を多く感じもって、大切にする気持ちを育てるような取組が多く欲しい。ゴミ拾いなど。	女性	60～69歳
		子どもにも年寄りにも明るい町づくりを。	女性	60～69歳
		音更町は帯広近郊の人口をどれくらい吸収できるかで人口減を少しでもおさえることができる。子育てしやすい環境、財政援助。高齢者が最後まで居住できる環境づくり（単身者、要介護者も）。アクセスの改善→十勝大橋がすぐ渋滞するので解消策。施設は本町役場周囲（近郊）に集中して建設する。	男性	60～69歳
		本町への定住者促進（木野方面では帯広近郊からの通勤可となる）。役場を中心とした人口増と周囲の活性化が期待できる。	男性	60～69歳
		行政と町民が一体となって、まちづくりに取り組むには、子どもの頃から関心を持たせる活動をする必要がある。親世代は、子どもの活動に巻き込み、高齢者は町内会等を利用してまちづくりの取組に参加するよう働きかけては。	女性	40～49歳
		全体的に人口もあり、財政もそこそこで、大きな町なので、もっと他町のモデルとなる様な先進的な取組をしても良いのではと常々思っていた。子育て世代は、小学生まで医療費無料、特色のある教育などに少し予算をさいてくれるともっと住み続けたいと思える。今のままだと、さほど帯広市と変わらず、子どもの高校通学のことを考えた時に音更に住む意味がなく、引っ越しも考えてしまう。	女性	30～39歳
		小規模の工事など一定企業にまとめず、たくさんの企業にチャンスを与えて少しでも音更町の中小企業を潤して活性化のひとつにして欲しい。	男性	40～49歳
施設（公共）	スポーツ	木野地区、宝来地区、ひびき野地区辺りに、体育館建設を要望する。人口も増えてきているし、十勝川音更川接近し、防災時、災害時にも活用できる施設が必要と思う。	男性	60～69歳
		テイセン（新通13丁目）跡地をスポーツ施設にする。テイセン跡地は、相当広いので、競技場や野球場の追加、テニスコート等作れば良いのではないか。	男性	30～39歳
		運動する場所が本町ばかりなので、元のボーリング場跡地などにできれば欲しい。	女性	60～69歳
		冬期間でも、子供達が野球、サッカー等ができる施設が欲しい。	男性	40～49歳
		サッカー場、陸上競技場等の整備。	女性	50～59歳
		帯広市のように屋内のスケートリンクがあったら良いのにと思う。（音更からは遠いので）	女性	40～49歳
		コミセンなどとても使いやすく、他団体としても活用させていただいているが、調理器具がそろわず、もう少し中味の充実した建物にして欲しい。（ゴムベラとかなべの種類、皿など）おしゃれにしようと思っても、サラダ皿とかもなく、葬儀用だけのようだった。（札内の百年記念ホールとかはもっと充実している）	男性	40～49歳
		施設整備について、（例えばパークゴルフ場や本町の野球場、プール等）新しい施設がたくさん造られているが、本当に必要なものなのか。ある特定の人（年齢、団体）に限られた使用のものなのか。その必要性に疑問を感じるものがたくさんある。音更町は人口も増え、事業所も多いことから、税収も順調かもしれないが、なんでもかんでも造ることはやめて欲しい。（私たちの納税したお金を大切に使って欲しい）	女性	30～39歳
		エコロジーパークやサンドーム、文化ホールなど、施設や整備が整っていてきれいなのはとても魅力的なところだと思う。注意してみていると、有効に活用されていて、無駄な設備や箱物ではないのだとも思う。でも、あくまで「注意して見ていれば」であって、こちらが情報を集めようとしたら見えてくるだけで、全体的にアピール不足だと思う。演劇や音楽などがきていても、役場や文化ホールには用事がない場合頻繁に訪れるわけじゃないのに、そこにしかポスターなどを見ない。とてももったいないし、知らぬ間に見逃したものも多いと思うと悔しい。以前、海外からアーティストが来ているのを聞きに行ったが、閑散としていてとても失礼だし申し訳ないと思った。新聞に一度でも広告をうったりOCTVのようなローカル局にPRしているのだろうか。	女性	30～39歳
		家庭菜園の大きい施設があれば健康とコミュニティができると思う。日高町町運営のこもれび農園のような。	男性	70歳以上

議会		自分たちの選挙戦の時だけ話がうまいですが、当選してしまうと人ごと。	男性	60～69歳
議会		議会だより日本共産党のためにあるのか。22名の町議いるのに、議会だよりは共産党ばかり。町議10名にして、地域で1名にしたら良い。	男性	70歳以上
		町議は選挙の時だけは調子がよく、当選したら変わる人が多く思う。もっと選挙前の気持ちに振り返って、頑張って欲しい。	女性	50～59歳
		議員定数の削減は勿論、報酬（仕事の内容からもらいすぎ）、欠席、遅刻、居眠りは減額。また、4年間で1度しか発言のない議員は有権者の代弁者とは言えない。我が国、この音更町の議員さんで1人でも町民の意見を聴いて歩いている方がいるのか。町民と接して意見を聴く機会（個別訪問とか、各町内での集合とか）選挙の時だけは訪問するが、その後は一度も来たことはない。若い人も、年配の方も、役場の中まで行って意見を言う時間、勇気はなかなかないので、どんな方法でも集まりやすい意見の言いやすい場を作って欲しい。議員さんは選挙の時だけでなく、自分の立候補した時の公約を成し遂げた時、各家庭に連絡すべき。	男性	60～69歳
アンケート		20代の私から答えられる点が少なく、ほとんどを「C」とした。	男性	18～29歳
		このアンケートの意義がわからない。興味のないことには、というか現実にその問題に直面していないことには答えようがないのでは。印象で答えたけれど、それは印象に過ぎないのだから、正確なものとは言えないと思う。	女性	50～59歳
		このまちづくりアンケートでは、農村部のことは何か考えてあるのか。	男性	50～59歳
		このアンケート項目は、音更町内だけで評価、回答すべきものではなく、帯広都市圏、もしくは十勝圏として考える中で評価、回答すべきものなので、このアンケートにあまり意味があると思えない。	男性	18～29歳
		このアンケートについて、保険医療とか教育、スポーツ、国際交流とか60歳の子どももいる、1人暮らしには全く関係のないことばかりなので、何に付ければいいのかよくわからない。	男性	60～69歳
		このようなアンケートは、費用がかかると思うが、数多く実施して、多くの町民の意見を聞き、より一層よい町になっていくと思う。	男性	60～69歳
		問1の満足度について、現在の自分の生活にあまり関わりのないことについて、回答することができなかった。町がどのような行政活動をしているのかさえ説明がなければわからない。	女性	40～49歳
その他		十勝大橋を中心とする帯広市との連携。（帯広・音更ともに十勝の中心としての大橋近辺のさびしさ）	男性	40～49歳
		同じ人が複数の審議会に所属しているのはどうなのか。	女性	50～59歳
		大前研一の講演を音更で。おもしろいと思う。	女性	40～49歳
		地番の表示を考えて欲しい。	男性	70歳以上
その他		音更は良い町だと思います。	女性	70歳以上
		音更は住むには最高。住み良く生活的には満足、これからの音更町の発展を祈っている。	女性	70歳以上
		安心して暮らせる町が一番。	女性	60～69歳
		あまり発展などせずこのままののんびりムードでいて欲しい。畑作農家もいつまでも続いて欲しい。	女性	60～69歳
		ネットワーク環境の充実。	男性	18～29歳

まちづくり町民アンケート調査

町民の皆様には、日ごろから町政に対するご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、音更町では、平成２３年度から「第５期音更町総合計画」に基づいて、まちの将来像「豊かな大地に広がる笑顔　今も未来も住み続けたいまち　おとふけ」をめざしてまちづくりを進めております。

このアンケートは、第５期総合計画を推進していく上で、町民の皆様の各分野に対する満足度を把握し、検証を行い、施策の展開に反映するとともに、将来の方向などについて、皆様のまちづくりに対する考え方やご意見をお聞かせいただき、行政と町民が一体となってまちづくりに取り組んでいくための貴重な資料とさせていただくことを目的に毎年実施するものです。

今後のまちづくりにとって大変重要なアンケートであることをご理解いただき、大変お忙しいところ誠に恐れ入りますが、皆様のご協力をお願い申し上げます。

平成２５年 ６ 月
音更町長　　寺　山　憲　二

＜ご記入にあたっての留意事項＞

１　アンケートの対象者

■音更町に在住する１８歳以上の町民 1,000 名を無作為に選ばせていただきました。
■封筒の宛名の方が対象者ですが、その方が回答できない場合は、ほかのご家族の方（１８歳以上の方）などが回答してください。（その場合、回答した方の年齢、性別等に○印をつけてください。）

２　回答方法

■選択式の設問は、該当する番号に指定の数の○印をつけてください。
■記述式の設問は、あなたのお考えを簡単にまとめ、回答欄に記入してください。

３　締め切りと返送方法

■調査票に回答をご記入後、同封しました「返信用封筒」に入れて、
６月２１日（金）までに返送してください。（**※切手は不要です。**）

４　お問い合わせ先

■音更町役場　企画財政部企画課企画調整係　までお問い合わせください。
ＴＥＬ　（０１５５）４２―２１１１（ 内線２１２・２１３）

５　その他

■調査は無記名で行い、回答はすべてコンピュータで統計的に処理し、個別の回答内容を発表することは決してありません。また、役場から調査票の回答内容等の問い合わせをすることは一切ありません。

音更町まちづくり町民アンケート　調査票

はじめに、回答される方についておたずねします。次の各項目【（オ）を除く】について、それぞれあてはまるものを１つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

（ア）性別	1. 男性　2. 女性
（イ）年齢	1. 18～29 歳　2. 30～39 歳　3. 40～49 歳 4. 50～59 歳　5. 60～69 歳　6. 70 歳以上
（ウ）出生地	1. 音更町で生まれ、ずっと音更町に住んでいる 2. 音更町で生まれ、その後町外に引っ越したが、再び音更町に住んでいる 3. 音更町外で生まれ、音更町に引っ越してきた
（エ）職業	※アルバイト・パート等の方も、仕事の業種で回答してください。 1. 農林漁業　2. 製造業・建設業 3. 商業・サービス業・金融業など　4. 公務・団体等勤務 5. その他の職業　6. 学生 7. 家事専業（主婦・主夫）　8. 無職
（オ）居住行政区（町内会）名	※この欄に直接記入してください
（カ）勤務地または通学地	1. 音更町内　2. 帯広市　3. その他
（キ）音更町での居住年数	※一度町外に転出して戻ってきた方は、これまでの合計年数で選んでください。 1. 5 年未満　2. 5 年以上 10 年未満 3. 10 年以上 20 年未満　4. 20 年以上

【問１】音更町での暮らしについて、各分野の【現在の「満足度」】と、【今後の「重要度」】をおたずねします。下の「①満足度」と「②重要度」の各選択肢（A～E）から、あてはまるものをそれぞれ１つずつ選んで、○印をつけてください。

「①満足度」「②重要度」それぞれに○をつけて下さい。

《記入例》

項　目	①満足度					②重要度				
	A 満足	B やや満足	C 普通	D やや不満	E 不満	A 重要である	B やや重要である	C 普通	D あまり重要ではない	E 重要ではない
各種イベント	A	(B)	C	D	E	A	B	(C)	D	E
保健・医療・福祉について										
1. 子育ての環境や支援	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
2. 健康づくりや病気の予防	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
3. 病院・診療所などの医療環境	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
4. 高齢者の自立支援	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
5. 障がい者（児）の生活支援	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
生活環境や安全・安心について										
6. 男女が等しく社会参加できる環境づくり	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
7. 町民ボランティア活動の育成・支援	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
8. 消費生活に関する情報提供や相談体制	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
9. 町内会活動などのコミュニティ活動	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
10. 交通安全への取り組み	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
11. 地域での防犯対策	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
12. 消防・救急体制	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
13. 自然災害などに対する防災体制	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
環境保全について										
14. 自然環境の保全	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
15. 騒音・振動・悪臭などの公害防止	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
16. ごみの収集・リサイクル	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
教育・スポーツ・文化・国際交流などについて										
17. 生涯学習の情報や機会の提供	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
18. 小・中学校の教育環境	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
19. 障がいのある児童などの教育環境	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
20. 芸術文化活動の促進	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
21. 芸術文化施設の充実	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
22. 文化財や史跡の伝承保存	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
23. スポーツ活動の推進	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
24. スポーツ施設の充実	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
25. 青少年の健全育成	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
26. 国際交流・都市間交流	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E

項　　目	①満足度					②重要度				
	A 満足	B やや満足	C 普通	D やや不満	E 不満	A 重要である	B やや重要である	C 普通	D あまり重要ではない	E 重要ではない
都市環境や都市基盤の整備について										
27. 公園や緑地の整備・管理	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
28. 公営住宅環境の整備	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
29. 上下水道の整備	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
30. 道路や歩道の除排雪	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
31. 道路の整備・管理	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
32. バスの利用のしやすさ	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
33. まちの景観	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
産業の振興について										
34. 日常の買い物環境	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
35. 中心市街地のにぎわいづくり	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
36. 農業の振興	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
37. 地産地消・食育の取組	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
38. 企業誘致や企業活動の支援	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
39. 観光地としての魅力づくり	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
40. 働く場の確保	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
その他行政運営について										
41. 広報誌やホームページなどの情報提供	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
42. 町民と行政の協働によるまちづくり体制	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
43. 窓口での対応や窓口サービスの提供	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E

【問２】総合的にみて、現在の音更町の住み良さはいかがですか。次の中から１つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

1. 住み良い
2. どちらかといえば住み良い
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい
5. 住みにくい

【問３】これからも、音更町に住み続けたいと思いますか。次の中から１つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

1. 今の場所に住み続けたい
2. 町内の別の場所に移りたい
3. 近くの市や町村に移りたい　⇒　［例えば：　　］
4. 道内のどこかへ移りたい　⇒　［例えば：　　］
5. 道外に移りたい　⇒　［例えば：　　］

【問４】前問（問３）で、３～５に○印をつけられた方におたずねします。
町外に移りたいと思う主な理由はどのようなことですか。次の中から３つまで選んで、番号に○印をつけてください。

1. 自分にあう仕事（職場）がないから（自分の力を発揮できる仕事をしたいから）
2. 商売や事業経営に不利だから。生計を保つ収入が得られないから
3. 勤務地や通学地が遠いから
4. 交通が不便だから
5. 自然条件が厳しいから（冬の寒さ、雪など）
6. 災害や交通事故、犯罪などが不安だから
7. 騒音・振動・悪臭などの公害が多いから
8. 住宅環境が悪いから
9. 土地代・家賃が高いから
10. 医療や福祉面が不安だから
11. 進学や子育て環境など、子どもの教育上の問題から
12. 人間関係や近所づきあいがうまくいかないから（今後不安だから）
13. 買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから
14. 余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから
15. その他（　　）

【問５】行政運営（まちづくり）や町民参加に関する次の項目について、それぞれどのようにお考えですか。下の各選択肢（Ａ～Ｄ）から、あてはまるものをそれぞれ１つずつ選んで、○印をつけてください。

項　　目	Ａ そう思う	Ｂ やや思う	Ｃ あまり思わない	Ｄ そう思わない
1. 音更町の行政活動（まちづくり）に関心がある	A	B	C	D
2. 音更町の行政活動（まちづくり）には町民の意向が反映されている	A	B	C	D
3. 音更町の行政活動（まちづくり）は、町民の意見を聞く機会が充実している	A	B	C	D
4. 音更町の行政活動（まちづくり）は、町民に対する情報提供が十分に行われている	A	B	C	D
5. 「町政声のポスト」やパブリックコメント（意見募集）などの機会を利用し、音更町の行政活動（まちづくり）に意見を述べたい	A	B	C	D
6. 審議会や町民会議など、音更町の行政活動（まちづくり）に意見を提言する機会に参加したい	A	B	C	D

【問６】音更町では、毎月１回発行の「広報おとふけ」と町のホームページで、町に関する情報をお伝えしています。あなたは、それぞれ、どのぐらいご覧になりますか。次の中からそれぞれ１つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

「広報おとふけ」について	音更町のホームページについて
1. 毎月読んでいる 2. 必要・関心のある時だけ読んでいる 3. まったく読まない 4. 届かない、入手できない	1. 週に２回以上 2. 週に１回ぐらい 3. 月に１～２回ぐらい 4. 年に数回 5. （見ることはできるが）見ない 6. ホームページを見ることができない

【問７】「広報おとふけ」とホームページについて、改善すべき点がありましたら、下の枠内にご記入ください。

【問８】最後に、今後のまちづくりにおける新たな取り組みや重点的に行うべき取り組み、まちづくりへのアイデアやご提案などがあれば、下の枠内にご記入ください。

※ご協力ありがとうございました。同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らず、そのままポストに投函してください。